

信者達が持つ権威

講師: A. L. & ジョイス ギル

www.gillministries.com

信者達が持つ権威

講師: A. L. & ジョイス ギル

この手引きは日本語で話す信者達の活用のために無料で提供されています。
コピーや、ダウンロード、そして配布等も主の導きに従ってど
うぞ自由に用いて下さい。

www.gillministries.com

このシリーズの手引

マニュアル(手引き) : A.L. & ジョイス ギル

これらの本は、「キングダム(神の王国) トレーニング」の一部ですから、私達は下記の順番通りに読まれる事を提案します。

新しい「神の創造物」としてのイメージ(姿形)

キリスト(救い主)の内にある貴方が何者であるかを知ること

信者達が持つ権威 如何にして負ける事を(意識的に)止めそして勝利し始めるか

信仰 超自然の中に生きるため

超自然的人生 聖霊の賜物を通して

癒しの為の神の備え 神の癒しの力の受け取りと奉仕すること

賛美と礼拝 神の礼拝者になること

祈り 天国を地上にもたらす

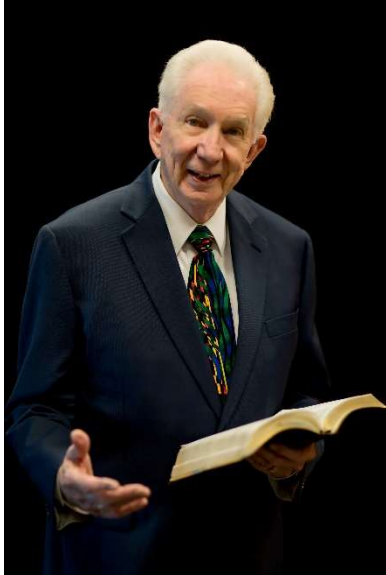
栄光 神の臨在

奇跡の福音伝道 世界に及ぶ神の計画

勝利を得た教会 使徒の働きを通して

奉仕の賜物 使徒、預言者、伝道師、牧師、教師

生活の模様(原型) 旧約から



著者について

A.L. ギル、ジョイスギル夫妻は、国際的にスピーカー、著者、そして聖書講師として知られています。A.L.の使徒的ミニストリーは、彼に世界中の80ヶ国以上の旅をもたらし、10万人を超える群衆の前で、そしてまた、ラジオやテレビを通して、何百万人に福音を語り教えています。

彼らの、最上に売れた本やテキストブック等は、1千500万部以上も売れました。多くの言葉に翻訳されているところの、彼らの書物は、聖書学校やセミナー等に、世界中で用いられています。

神の言葉の、力あるライフ-チェンジング(人生を変える)真理が、彼らのダイナミックな説教、教え、書物と、そしてビデオやオーディオテープでのミニストリーを通して

他の人々の人生を打破/論破/くつがえします。

信じる者達がどのように本物の親密な(神との関係にある)神の礼拝者に成るのかを見つけ出して行くに連れ、神の臨在にある畏れ多い栄光が、彼らの賛美と礼拝セミナーの中で経験されています。多くの者が、彼らの「信者達の権威」の教えを通して、新しくそして、活気的な勝利の次元や、大胆さを見つけ出しています。

ギル夫妻は、多くの信じる者達を彼ら自身が「神から授かっている」超自然の数々のミニストリー(奉仕)の中に、彼らの手を通して流れる神の癒やしの力をもって、一步踏み出すために訓練して来ました。多くの者は、彼らがすべての9つの聖霊の賜物によって、彼らの日々の生活と奉仕で、機能する/動くために解き放されていくに従って、超自然的自然でいることを、学んで来ました。

A.L.とジョイスの両方、神学科の修士学位を所持しています。A.L.は、また、ヴィジョン・クリスチャン・ユニバーシティから、神学科学位の哲学科博士号をも得ています。彼らの、堅く神の言葉の基礎にあるミニストリーは、イエスに中心を置いています、信仰に強くそして、聖霊の力によって教えられています。

彼らのミニストリーは、御父の愛の心の実地教授(デモンストレーション)です。彼らの説教と教えは、力ある油の注ぎ、印、不思議と、そして神の御力のもとにある波/流れによって、多くの者が倒される事と共に、癒やしの奇跡等が伴っています。神の栄光と御力の畏れ多い表われは、彼らの集会に出席した多くの者によって経験されています

。

教師達と生徒達への一言

このパワフルな信者達の權威の学びは、回復された支配力の黙示/神からの啓示を一人一人の生徒の人生にもたらずでしょう。彼等は、人生の全ての悩みの中で如何にして負けることを止め、勝利し始めるかという事を学ぶでしょう。信者たちは、彼等がイエス・キリストにあって何者なのかという事の新しい黙示によって、動機が与えられるでしょう。この学びは、生徒達の人生に勝利の大胆さと確信を解き放すでしょう。

私達はこのコースを教える前にあなたがこのシリーズについてのオーディオまたは、ビデオテープ等を聞くか見るか、または提案読書のリストに上げられている本等を読まれることを提案します。自分自身をより信者達の權威と靈的戦いに関しての神の言葉の真理にしみ込ませればしみ込ませる程、よりこれらの真理は貴方の知性から貴方の靈の心に入って行くでしょう。この手引きは、貴方がこれらの真理を他の人達に伝えて行く時に、貴方が使うための概要を備えるでしょう。

個人的な生活の例証/実例は、効果的な教えに不可欠な一つです。(それ故に)著者はこれらの事を教師が彼の又は彼女自身の豊かな経験や、もしくは生徒達が共感出来るところの他の人々からの例証/実例を備えるように、あえて取り除きました。

それは聖霊様が、私達のもとに来て下さって全ての事を教えて下さるという事、そして私達が学習している時や、教えている時にも、私達はいつも権能が与えられそして聖霊様によって導かれるべきであるという事は、常に覚えられているべきなのです(信じる者達によって)。

この学習は、個人でもまたグループ学習、聖書学校、日曜学校、そして家庭集会等にとっても優れています。この学習のコース中は、教師と生徒の両方がこの手引を持っていることが重要です。

最良の本はアンダーラインや、黙想そして消化した上で書かれています。私達はあなたのメモやコメント等のための空白を残しておきました。フォーマットは、あなたが、復習とそして領域等を再度見つけるために助けるための、速い参照システムでデザインされています。この特別なフォーマットは、一度彼等がこの教材を学習したら、各自が他の人達にコンテンツ(内容)を教えることを可能にします。

パウロがテモテに書きました：

そしてあなたが、多くの証人の前で私から聞いたことを、さらに他の者たちにも教えることの出来るような忠実な人々に、委ねなさい。 2 テモテ 2:2b

この科目は、MINDS(ミニストリー デベロップメント システム)フォーマット、特に接近するために(問題の手がかりとなるために)開発されて、プログラムされている学習の実際的参与聖書科目としてデザインされています。この概念は人生においての、奉仕活動や生徒達への将来の教えの倍増化のためにデザインされています。前生徒達は、このマニュアル(手引き)を用いることによって、この科目を他の人達に簡単に教えることが出来るのです。

目次

レッスン	1	自分の敵を知れ	5
レッスン	2	地上での権威	16
レッスン	3	悪魔の惑わしの計画	26
レッスン	4	その時イエスは来られた - 神の計画	34
レッスン	5	イエスは権威をもって奉仕した	46
レッスン	6	十字架から王座へ	54
レッスン	7	人類に返還された権威	64
レッスン	8	悪魔の昨今の作戦	78
レッスン	9	教会と権威	88
レッスン	10	(神の)王国への鍵	97
レッスン	11	イエスの御名	109
レッスン	12	勝利の霊的戦争	120
		暗記する詩	131

レッスン1 自分の敵を知れ

私たちは戦場にいる！

戦闘

クリスチャンとして、私たちは自分たちが戦争に関わっているという事実を認識しなければなりません。悪魔の主な戦略の一つは、私たちが現在直面している紛争に対し私達を(視覚をそらさせ)盲目にすること、それによって私達を彼の攻撃に対して無防備にすることでした。しかし、神は私たちが敵に対して勝利するために必要なすべての武器を私たちに与えてください◆ました！

2 コリント人 10:3, 4A 私達は、肉にあって歩いているが、肉に従って戦っているのではない。私達の戦いの武器は、肉のものではなく、神のためには要塞をも破壊するほどの力あるものである。

1 テモテ 6:12 信仰の戦いを立派に戦いぬいて、永遠の命を獲得しなさい。あなたは、そのために召され、多くの証人の前で、立派な証をしたのである。

これらの武器は自然界のものではないことを覚えておくことは重要です。それらは霊のものです。

新約聖書の著者の多くは戦闘の言葉を使いました。これらは象徴的な用語ではなく、むしろ私たちが従事している戦いの実際の記述です。これらの戦いは霊の闘技場で行われます。

私たちの敵

私たちは、日常生活や人間関係のあらゆる分野で敵から攻撃を受けています—私達の

(以下)の中で:

- ◆ 家族
- ◆ 経済
- ◆ 仕事
- ◆ 考 (メンタル)
- ◆ 身体 (健康)

- ◆ 家庭
- ◆ 隣人
- ◆ 都市
- ◆ 国/国民
- ◆ 世界/この世

学ぶべき最も重要な事の一つは、私たちの戦闘が人々とのものではないという事です。それは悪魔とその悪霊に対するものです。それは霊の領域にあります。人々と衝突することは、欲求不満と敗北を招くだけです。

誰が私たちの敵ですか？

私たちが戦場にいることを私たちが知っているならば、私たちの敵が誰であるかを認定することが重要です。

私たちの敵は 一

- ◆ 私たちの家族？
- ◆ 一緒に働いている人たち？
- ◆ 私たちの政府？
- ◆ 私たちの財政？

違います！

諸々の統治者—(闇の世の)権威者

力—霊的勢力

使徒パウロは私達の敵をかなり写實的に描写しています。彼は私達に私達のもがき/奮闘は、私達のまわりの人々とではないと私達に話しました。彼は私達は、血肉に対して戦うのではないと言いました。

エペソ人 6:12 私達の戦いは、血肉に対するものではなく、諸々の支配と、権威と、闇の夜の主権者、また天上にいる悪の霊に対する戦いである。

デビル(悪魔)/スランダー(=ゴシップ、悪口、噂話をする者)

ペテロは私たちの敵対者が悪魔であることを明らかにしました。

1 ペテロ 5:8 身を慎み、目をさましていなさい。あなた方の敵である悪魔が、吠えたける獅子のように、食い尽くすべきものを求めて歩き回っている。

策略

悪魔の(人をだまし〜から引き離そうとする)策略は、彼の(だまし取る)陰謀、戦略および惑わしの計画、彼が私たちに対抗するために使うものです。彼は私たちを打ち負かすための試みの中で使用する軍事型の戦闘計画を持っています。しかし、私たちが彼の計画に気づくにつれて、私たちは神が私たちの戦いのために備えて下さっている武具と武器についてもっと気づく様に成らなければいけないのです。武具は私たちの防衛のためのものです。武器は私達の敵に対する私達の勝利的な攻撃のためのものです。

エペソ人 6:11 悪魔の策略に対抗して立ちうるために、神の武具で身を固めなさい。

警告

- ◆ イエスで心が満たされて居なさい(イエスと同居していなさい)
- ◆ 威を知りなさい
- ◆ 決して悪魔に脅かされてはならない

私たちは悪魔、彼の悪霊達、または彼の陰謀に夢中(頭が一杯)になったり、過度に感銘を受けたりするべきではありません。そうではなくて、私たちはイエス様と(霊の内に)共に住んで居るべきなのです。私たちが彼(主)に目を向け続けていると、私たちは彼(主)にあって私達が何者なのかを認識しているようになるでしょう。私達がイエスを通して私達の回復された権威に気づくようになるにつれて、大胆さが私達の霊の中に立ち上がるでしょう。私たちは悪魔や彼の策略に脅かされることはないでしょう。

神は天使(御使い)的存在を創造した

神は永遠です。

彼は常に存在し、そして彼は全ての物の創造者です。

ヨハネ 1:1-3 初めに言葉があった。言葉は神と共にあった。言葉は神であった。この言葉は初めに神と共にあった。すべてのものは、これによって出来た。出来たもののうち、一つとしてこれによらないものはなかった。

ヨハネ 1:14 そして言葉は肉体となり、私達のうちに宿った。私達はその栄光を見た。それは、父の一人子としての栄光であって。恵みと真とに満ちていた。

その“言葉”はイエスです。

神は天使達を創造した

神の息子として、イエスは、天使を含めて全ての物を創造しました。彼らは、彼(主)によって創造されただけではなく、また彼の神にある目的のために創造されました。

コロサイ人 1:16, 17 万物は、天にあるものも地にあるものの、見えるものも見えないものも、位も主権も、支配も権威も、みな御子にあって造られたからである。これら一切のものは、御子によって造られ、御子のために造られたのである。彼は万物よりも先にあり、万物は彼にあって成り立っている。

天使達は組織化されている

パウロが、王座、支配、主権、そして脳力等をリストに上げたのは、天使達を指しています。彼は彼ら(天使たち)の機能を参照した言い表し方を用いました。

彼らは違ったタイトルを持っている：

- ◆ アーキエンジェル
- ◆ ケルビム
- ◆ セラフィム

◆ 生き物(Living creature)

彼らは違った機能を持っている：

- ◆ 君主/王座
- ◆ 支配
- ◆ 主権
- ◆ 脳力

神はルシファー(黎明の子)を創造した

私達はイエスが全ての物を創造された事を知っているので、私達は彼がルシファーを創造したことを知っています。

ルシファーの以前のポジション

ルシファーの元々のポジションは最上の榮譽ある一つでした。彼のタイトルの一つは、明けの明星でした。

イザヤ 14:12 黎明の子(ルシファー)、明けの明星よ、あなたは天から落ちてしまった。諸々の国を倒した者よ、あなたは切られて地に倒れてしまった！

ヨブ 38:7 …かの時には明の星は相共に歌い、神の子たちはみな喜び呼ばわった。

ルシファーの特徴/種類記述(人相書)

預言者エゼキエルと、預言者イザヤの両方の預言者が、私達にルシファーの特徴を見抜く事柄を与えています。

- ◆ 完璧の模型/雛形
- ◆ 知恵で満ちたもの
- ◆ 完全な美

エゼキエル 28:12b …主なる神はこう言われる、あなたは知恵に満ち、美の極みである完全な印である。

- ◆ 宝石で覆われたている

エゼキエル 28:13a …あなたは神の園エデンにあって、諸々の宝石が、あなたを覆っていた。すなわ

ち赤メノウ、黄玉、青玉、貴かんらん石、緑柱石、縞瑪瑙、サファイア、ざくろ石、エメラルド。そしてあなたの象眼も彫刻も金でなされた。

◆ 美声

エゼキエル 28:13b ... これら(あなたのティンブルとパイプ等の細工)はあなたの造られた日に、あなたのために備えられた。

ティンブルは音楽の打楽器。パイプはフルートの様な吹く楽器。

イザヤ 14:11a あなたの栄華とあなたの琴の音は陰府に落ちてしまった。

彼の声は偉大なオーケストラのように聞こえた。

◆ 避難する点が無い

エゼキエル 28:15 あなたは造られた日から、あなたの中に悪が見い出された日まではその行いが完全であった。

ルシファーの機能

預言者エゼキエルはルシファーの元々の機能が何であったかを書きました。

◆ 王座の保護者

エゼキエル 28:14 私はあなたを油注がれた守護のケルブと一緒に置いた。あなたは神の聖なる山にいて、火の石の間を歩いた。

ケルブは契約の箱の哀れみの座の両側を覆って居るものでしたが(出エジプト記25:18-22)、ルシファーが神の次に最も偉大な栄誉ある位置にいました。明けの明星もしくは夜明けの息子として、彼は神の王座を覆いそして守り、そして神の輝きと栄光を反射していました。彼は保護者ケルブとして油が注がれていました。彼は神によって最も偉大な責任ある位置に信頼されていました。

◆ プレイズ(賛美)リーダー

彼の音楽的声の特徴の記述から、彼が全ての天使達を神の賛美と礼拝(ワーシップ)に導きそしてその賛

美と礼拝をもって彼は神の王座をガードしていたように見えます。

天国の戦場ールシファアの墮落

高ぶりによる原因 / 反逆

ルシファアの反逆と墮落、そして天国での戦闘を及ぼした結果を理解することが、私達に今地上で私達が関わっている戦闘の特徴/特質の理解を与えてくれます。

エゼキエル 28:15, 17 あなたは造られた日から、あなたの中に悪が見い出された日迄はその行いが完全であった。

あなたは自分の美しさのために心高ぶり、その輝きのために自分の知恵を汚した故に、私はあなたを地に投げうち、王たちの前に置いて見せ物とした。

ルシファアは彼を創造された唯一の御方の美しさの代わりに、彼自身の美しさに彼の注目を中心にする迄は完全でした。高ぶりが入ったのです。彼は 神御自身の光り輝く明るさに彼の注目を置き続ける事に取って代わり、彼自身の明るさに思いを馳せたのです。

“意思/意向/心の思い”

そこには一つの意向、がありました、神の御心/意思 (will)、です、それがルシファアにプライド/高ぶりが入る迄、ユニバース/万物を支配していました。

イザヤ 14:12-17 黎明の子、明けの明星よ、あなたは天から落ちてしまった。諸々の国を倒した者よ、あなたは切られて地に倒れてしまった。あなたは先に心のうちに言った、

『私は天に登り、私の王座を高く神の星の上に置き、北の果てなる集会の山に座し、雲の頂に登り、いと高き者のようになろう』。

しかしあなたは陰府に落とされ、穴の奥底に入れられる。

あなたを見る者は、つくづくあなたを見、あなたに目をとめて言う、『この人は地を震るわせ、国々を

動かし、世界を荒野のようにし、その都市を壊し、捕らえた者をその家に解き帰さなかった者であるのか』。

この瞬間迄宇宙には、ただ一つの意味だけがあったのでした一神の御心。背きの内に、ルシファーは、神の意思に逆らって彼の意思を試みしました。ルシファーの五つの“私が～する/に成るのだ”によって表されたように、惑わしと彼の反逆の意思表示は、天の御座の上の神と置き換えようとする所まで向上していきました。

戦い

黙示録 12:7-10 さて天では戦いが起こった。ミカエルとその使いたちとが、龍と戦ったのである。龍もその使いたちも応援したが、勝てなかった。そして。もはや天には彼らのおる所がなくなったのである。この巨大な龍、すなわち悪魔とか、サタンとか呼ばれ、全世界を惑わす年を経た蛇は地に投げ落とされ、その使いたちも、もろともに投げ落とされた。

◆悪魔と使いたちが投げ出される

この巨大な龍、すなわち悪魔とか、サタンとか呼ばれ、全世界を惑わす年を経た蛇は地に投げ落とされた、その使いたちも、もろともに投げ落とされた。

その時私は、大きな声が天でこう言うのを聞いた、「今や、我々の神の救いと力と国と、神のキリストの権威とが、現れた。我らの兄弟らを(日夜)訴える者は、投げ落とされた。…

エゼキエル 28:16 あなたの商売が盛んになると、あなたの中に暴虐が満ちて、あなたは罪を犯した。それ故、私はあなたを神の山から汚れたものとして投げ出し、守護のケルブはあなたを火の石の間から追い出した。

ルシファーと彼の使いたちは、天から追い出された。

戦争の結果

◆ 3分の1の天使たちが墮落した

3分の1の天使たちはルシファーの指揮の下に居たそして彼らは彼(ルシファー)と共に落ちた。他の天使たちは、ミカエルとガブリエルの指揮の下で、神に誠実に居続けた。

黙示録 12:4a その尾は天の星の三分の一を掃き寄せ、それらを地に投げ落した。

ルシファーと“彼の使たち”は、地球に振り落とされました。

黙示録 12:9 この巨大な龍、すなわち、悪魔とか、サタンとか呼ばれ、全世界を惑わす年を経た蛇は、地に投げ落とされ、その使たちも、諸共に投げ落とされた。

◆ 名前の変更

ルシファーの名前は変えられました。明けの息子やそして、油注がれたケルブのようなそんな高尚なタイトルを与えられたところの、彼の名前が(以下のように)成った：

- ◆ ドラゴン/龍
- ◆ 蛇
- ◆ デビル(噂話、悪口、誘惑するもの)
- ◆ サタン/悪魔(嘘つきの父、訴え非難する者)

ルシファーの権威の下に居る天使たち、反逆のうちに彼に従ったそれらの天使たちは、それぞれの王座、脳力者たち、支配者たち、そして権威者たちで彼らの組織的構成を持ち続けたが、しかし彼らの名前は、墮落した彼らの性質に反映して変えられました。彼らは今は、デーモンたち、デビルたち、悪霊たちと呼ばれています。

◆ 性質の変更

悪魔の全性質は、変えられました。

彼は～(以下のもの)だった：

- ◆ 明けの明星
- ◆ 明けの息子
- ◆ 賛美と礼拝(ワーシップ)をリード/導くもの
- ◆ 神の王座をガードして保護するもの

彼は～に成った：

- ◆ 没落
- ◆ 恥ずかしめられた
- ◆ 天から追いやられたもの

彼は失った：

- ◆ 彼の偉大な美
- ◆ 神の王国での彼の高い地位

彼の性質は …(以下のもの)…に成った：

- ◆ 闇/暗い
- ◆ 醜い
- ◆ 悪/邪悪
- ◆ 嫌悪で満ちた

これは、全て彼のプライドと反逆の罪の結果であった。

復習のための質問

1. ルシファーの元々の機能と位置を述べなさい。
2. その結果と成った、彼の反逆と、墮落と、そして戦闘を述べなさい。
3. 誰が、今日の信者たちの本当の敵ですか？

レッスン 2 地上での権威

創造された地球

神によって

創世記で私たちは、神が地球を創造したと教えられています。

創世記 1:1 はじめに神は天と地とを創造された。

☐ 住ませるために

イザヤによると、地球は空っぽであるために創造されたのではありません。それは人が住むように形成されました。

イザヤ 45:18 天を創造された主、すなわち神であつてまた地をも造り成し、これを堅くし、いたずらにこれを創造されず、これを人のすみかに造られた主はこう言われる、「私は主である、私の他に神はない。…

☐ 形無きものと成った

然しながら、創世記 1:2 は記述/説明しています、地球は形が無く、虚しく暗かった。この記述は、住むための準備が出来ている場所ではありません。ヘブライ語では、英語に訳されている言葉の“であった”は、“と成った”と明確に訳すことができたでしょう。

創世記 1:2 地は形なく、虚しく、闇が淵の面にあり、神の霊が水のおもてを覆っていた。

エレミヤに、私たちは同じヘブライ語が使われていて、そして訳されているのを見つけます。

エレミヤ 4:23-25 私は地を見たが、それは形がなく、また虚しかった。天をあおいだが、そこには光がなかった。私は山を見たが、みな震え、諸々の丘は動いていた。私は見たが、人は一人もおらず、空の鳥はみな飛び去っていた。

㊦ 暗くて空っぽに成った

エレミヤは、神の裁きが完全な地球を破壊(闇)の場に換えたと説明しています。

エレミヤ 4:23 私は地を見たが、それは形がなく、また虚しかった。

エレミヤは続けて地球の上にあった神の裁きを記述しました。

エレミヤ 4:26, 27 私は見たが、豊かな地は荒地となり、その激しい怒りの前に、破壊されていた。

それは主がこう言われたからだ、「全地は荒地となる。しかし私はことごとくはこれを滅ぼさない。

...

㊦ 悪魔が地球に来た

悪魔が創世記1:1と、創世記1:2の間で、地球に投げ落とされたという事が可能です。(注解を見る: ページ17)

この地球に落とされたものである悪魔を想像してみてください。彼は天国で最上の地位の一つに着いていました。彼は記述された特徴(記事、銘柄)を超えた美を持っていました。彼は、神の栄光を反射/反映するものであった。然しながら彼は、彼の反逆の内に更にそれ以上を望みました。彼は、天国で支配することを望みました。

そこには、戦いがありました。彼と彼に従った使いたちは、地球に落とされました。悪魔が何処を見ても、彼は今は非常に嫌悪している創造者、神のことを思い出させられました。彼は、彼の反逆によって失ってしまった全ての事を想い起こさせられました。

おそらく盗み、殺し、滅ぼすために来たものとして悪魔が、彼の盲目(事が正しく見えてない無知識)な嫌悪と怒りの内に、実際にこの地球を破壊してしまったのかもしれない。唯一悪魔が支配するために残されていた物が、空虚で、空しい(意味の無い)、そして完全な闇の中に存在する物に成ってしまいました。さて、彼に残された全ては、たった一つ小さくて、暗い、空っぽのプラネット(惑星)でした。

神によって回復/修正された地球

創世記の1:2では、神の霊が水の上を覆うごめいていたと読みました。創世記1:3は、神が“光あれ”と言ったと、陳述しています。悪魔は、その声を知っていました！

彼はそれを永遠の過去に聞いていたのです。彼がその神の声を聞いた時、如何に彼はパニックしたに違いないかを想像します。地球上でさえ、彼は神から隠れる事はできなかったのです。ここに居ても、神は彼を自由に放ってお来ませんでした。

悪魔が、神が次の5日間の内に地球をその元の美しさに修復するのを見た時、どんなにか恐れおののいたに違いなかったでしょう。

“それから神は言われた”

地球は、語られた言葉を通して再創造されました。神が破壊されてしまった全てを存在するものに語り返したということを理解する事は重要です。

創世記 1:3 神は「光あれ」と言われた。すると光があった。

6節 神はまた言われた、「水の間には大空があって、水と水とを分けよ。」

9節 神はまた言われた、「天の下の水は一つ所に集まり、乾いた地が現れよ。」そのようになった。

11節 神はまた言われた、「地は青草と、種をもつ草と、種類にしたがって種のある実を結ぶ果樹とを地の上にはえさせよ。」そのようになった。

14節 神はまた言われた、「天の大空に光があって昼とよるとを分け、印のため、季節のため、日のため、年のためになり、…

20節 神はまた言われた、「水は生き物の群れで満ち、鳥は地の上、天の大空を飛べ」。

24節 神はまた言われた、「地は生き物を種類にしたがっていだせ。家畜と、這うものと、地の獣とを種類にしたがっていだせ」。そのようになった。

26節 神はまた言われた、「我々の形に、我々に型どって人を造り、これに海の魚と、空の鳥と、家畜と、地のすべての獣と、地のすべての這うものとを治めさせよう」。

29節 神はまた言われた、「私は全地のおもてにある種をもつ全ての草と、種のある実を結ぶすべての木とをあなた方に与える。これはあなた方の食物になるであろう。…

悪魔の反応

完全であった全てが、ここ地球上で破壊されてしまっていた、神は再び完全にしました。神の計画は何だったのですか？なぜ神はこのプラネットに興味があったのですか？

自分のデーモンたちに絶叫している悪魔を想像してみてください、“どうして神は、我々を放って置いてくれないのだ？彼(神)には彼の動かす全宇宙があるのに、我々にある全ては、この小さなプラネット一つだ!”

その日その日、5日間神の声が聞かれるに連れ、パニックと嫌悪とが悪魔を捕らえてしまったに違いないでしょう。神が語ったので、地球は元のオリジナルの美しさに修復されました。神に対する悪魔の嫌悪の激烈度は、毎日増して行ったに違いないでしょう。

*注解：聖書学者たちは、悪魔の墮落と人間の創造とに関する出来事の前後関係に付いて同意していません。このレッスンの中の教材は、創世記の第1章の1節と2節の間において時間の“ギャップ”がある、ということを教えるところの“ギャップ節”に基づいています。この神学は、悪魔が彼の反逆の後、地球上に投げ落とされ、そしてその結果として地球は2節に述べられているように、無形で、空虚で暗いものと成ったということを教えています。

他の人たちは、悪魔の反逆と墮落は、人が創造された後に起きたということを教えています。そしてまた、学者たちは、天国から地球への悪魔の追放のタイミングに関しては、同意していません。

このレッスンで述べられた出来事の前後関係に同意する事は、人が、神のイメージによって創造され、この地上での完全な権威と主権を与えられたという事を理解する事程よりも重要ではありません。そしてまた、これが、なぜ悪魔が人類を非常に嫌悪する理由であるということを理解することが重要です。

人間に与えられた権威

神のイメージによって創造された

神が地球を再創造した後、彼は男と女を彼のイメージに創造しました。それから彼は、彼らに地球の全面に生きていた全ての物の上の権威を与えました。

☐ 彼らに主権を持たせよう

創世記1章で、私たちは、人類が、神のイメージによって創造されたと教えられています。創世記9章では、私たちは再び同じことを教えられています。

創世記 1:26 神はまた言われた、「我々の形に、我々に型どって人を造り、これに海の魚と、空の鳥と、家畜と、地のすべての獣と、地のすべての這うものとを治めさせよう」。

創世記 9:6 人の血を流すものは、人に血を流される、神が自分の形に人を造られたゆえに。

男と女は、神のイメージによって創造されたという事を知っていることが、この課目の理解にとって重要です、なぜならば、神のイメージこそが、権威の一つだからです。

創世記 1:27 神は自分の形に人を創造された。すなわち、神の形に想像し、男と女とに創造された。

与えられている 神の命

神は彼の手によって地の土から人の身体を形付けました、そしてそれから彼は、神御自身の息を彼(人)に吹き込みました。神は人類に彼御自身の本質/性質を吹き込みました。

彼(神)は、彼の命を私達に与えて下さいました。神の命が、私達の内にあるのです！

創世記 2:7 主なる神は土のちりで人を造り、命の息をその鼻に吹き入れられた。そこで人は生きた者となった。

悪魔の上に立つ権威

天国での戦争の後、悪魔は地球に追放されてしまいました。あなたは、神が人類を創造するのを悪魔が見た時の彼の恐怖が想像できますか、神御自身の命が彼(人)に吹き込まれ、そしてそれからこの新しい創造物規則と、そして地球上に有る全ての生き物の上の主権とを与えた時の？

悪魔は、地球上に生きていました！主権は、悪魔とそして彼の従う者たちの上の権威を含めて、人に与えられました。

両方に与えられた権威

神はイブをアダムと共に形作られました、そして彼らは地球上の全ての物の上の権威と主権とを持っていました。

創世記の2章の中に私たちは、イブの創造の話をもっています。

創世記 2:21-24 そこで主なる神は人を深く眠らせ、眠った時に、そのあばら骨の一つを取って、その所を肉でふさがれた。

主なる神は人から取ったあばら骨で一人の女を造り、人の所へ連れてこられた。

その時、人は言った。「これこそ、ついに私の骨の骨、私の肉の肉。男から取ったものだから、これを女と名付けよう」。

それで人はその父と母を離れて、妻と結び合い、一体となるのである。

☐ アダムだけにではない

最初的人类に付いての言及から、神は言いました、“彼らに主権を持たせよ”。彼は、“彼に主権を持たせよ。”とは言わなかったのです。

創世記 1:26-28a 神はまた言われた、「我々の形に、我々に型どって人を造り、これに海の魚と、空の鳥

と、家畜と、地のすべての獣と、地のすべての這うもの

とを治めさせよう。」

神は自分の形に人を創造された。すなわち、神の形に人を創造し、男と女とに創造された。

神は彼らを祝福して言われた、「生めよ、増えよ、地に満ちよ、地を従わせよ。また海の魚と、空の鳥と、地に動くすべての生き物とを治めよ」。

男は女の上に主権を用いることは無く、女も男の上では無く、しかし一人の身体として、彼らはこの地球上での主権と権威の中、一緒に歩むべきもので在るのです。

ともに/相互に、彼らは権威をこれらの上に与えられた：

- ☐ 海の魚
- ☐ 空の鳥
- ☐ 家畜
- ☐ 土地の全て
- ☐ 全ての生きている物

☐ 他の人たちの上では無い

人は、彼の仲間/同じ人類の上に権威を持つべき者ではなかった。彼はこの地球上の神の創造物の全ての上に、そして悪魔と彼のディーモンたちの上に権威を与えられていた。

神は今では、完全な権威と主権を惑星地球を除いた、全ての宇宙の中で持ちました。ここで彼は彼の権威を 男と女と呼ばれる、これらの新しい神-のような、生物/創造物に与えられました。

自由意思を与えられている人間

◆ 意志の力/意欲神はアダムに自由意志を与えました。彼は、神に従うか従わないかどちらかを選ぶ力を持っていました。人類は意志の力、選択、自由意志を与えられていました。

人の意志の力は、(エデンの)園で忠実と不忠実、善悪を知る木から食べる事か、それともその木から食べないのかをた試される為でした。人類は、今も尚、自由意志を持っています。

創世記 2:16, 17 主なる神はその人に命じて言われた、「あなたは園のどの木からでも心のままに取って食べてよろしい。しかし善悪を知る木からは取って食べてはならない。それを取って食べると、きっと死ぬであろう」。

悪魔は人類を忌み嫌う

悪魔は、アダムとイヴを忌み嫌った、なぜなら彼らは、神のイメージによって創られていたから。彼らの創造の瞬間に、彼らは彼(悪魔)が勢力によって取ろうと試みたところの全てを与えられたのです。

☐ 彼らは、神のように見えた。

☐ 彼らは、神のように話した。

☐ 彼らは、神のように歩んだ。

彼らは、地球上の全ての物の上の主権を与えられました、そしてそれは悪魔を含んでいました。それは、彼(悪魔)が主権を持っていた全てを含んでいました。それは、“彼の”王国の全てを含んでいました。

悪魔の偉大な恐れ

悪魔は、私達の権威を知っています。彼は、神が何と言って何をし終えたのか知っています。

私達のが私達の権威を知らない事—私達がそれを見つけない事無く、神が与えた権威と主権の中を歩き始めない事が、彼にとって非常に重要なことなのです。

悪魔の“私は、するだろう(つもりだ)” (の数々)

イザヤで提供されている悪魔の“私は、するだろう”を思い出しましょう。

イザヤ 14:13-15 あなたは先に心のうちに言った、

『私は天にのぼり、

私の王座を高く神の星の上におき、

北の果なる集会の山に座し、雲のいただきにのぼり、いと高き者のようになろう』。

しかしあなたは陰府に落とされ、穴の奥底にいれられる。

人に与えられている全て

悪魔が反逆の中で、成ろうとしていたところの全ては、神が、人をそう成るために創造しました！

☒ 悪魔は言った、“私は、天国に上がろう。”

人類は、神と交わりを持つために創造されました。私達は、この宇宙の神と共に歩きそして話すために創造されました！私達は、彼と共に、君臨するために創造されました。

黙示録 20:6 この第一の復活にあずかる者は、幸いな者であり、また聖なるである。この人たちに対しては、第二の死はなんの力もない。彼らは神とキリストとの祭司となり、キリストと共に千年の間、支配する。

☒ 悪魔は言った、“私は、神の星々の上に私の王座を昇進/高揚するであろう。”

神の星々は、天使たちを参照/示しています。悪魔は、重要性において天使たちより上で在りたいと望みました。

使徒パウロは、いつの日か私達が、天使たちを裁くのである、ということを書きました。

第1コリント人 6:2,3 それとも、聖徒は世を裁くものであることを、あなた方はしらないのか。そして、世があなた方によって裁かれるべきであるのに、極めて小さい事件でも裁く力がないのか。

あなた方は知らないのか、私達は御使をさえ裁く者である。ましてこの世の事件などは、言うまでもないではないか。

☒ 悪魔は言った、“私は、最も北側の会衆の山の上に着座するつもりだ。”

私達は、イエスにあって、天国の領域においての席に着かされています。

エペソ人 2:6 ... キリスト・イエスにあって、共によみがえらせ、共に天上で座につかせて下さったのである。

☒ 悪魔は言った、“私は、雲の高さより上に昇ろう。”

私たちは、空中でイエス様とお会いするのです—雲の中で。

1テサロニケ人 4:16, 17 すなわち、主ご自身が天使の頭の声と神のラッパの鳴り響くうちに、合図の声で、天から下っておられる。その時、キリストにあって死んだ人々が、まず最初によみがえり、それから生き残っている私達が、彼らと共に雲に包まれて引き上げられ、空中で主に会い、こうして、いつも主と共にいるであろう。

☒ 悪魔は言った、“私は、最上(に居られる)の方と同じようになろう。”

人は、神のイメージによって創造されました。あなたはまだ、なぜ悪魔が人類を忌み嫌っているか不思議に思っていますか？

私達は…(以下)のために創造されているのです：

☒ 神のように話す

☒ 神のように歩くそして

☒ 神と共に支配する！

私達が、悪魔が彼の反逆の内に、取ろうと試みたところの全てを与えられているということは、如何に恥じ入る事に違いなかったでしょう

復習のための質問

1. 地球の起源と、悪魔の墮落とそして結果と成った地球の裁きを自分の言葉で説明しなさい。
2. 神が、地球を再創造したとき、どのように神は権威と主権によって機能したか述べなさい。
3. なぜ悪魔が、あなたを忌み嫌っているのか説明しなさい。あなたは、その嫌悪の原因となる何をしましたか？

レッスン 3

悪魔のだまし惑わす計画

悪魔はアダムとイヴが与えられたと同じ様に、そのように全ての人類にも、神が所有しているその命と本質そのものを与えられてしまったのを見ました。

悪魔は、今や人類がこの地球上での全ての上の権威を持ってしまった事を恐れおののいたに違いないでしょう。

人は、神のようには見えませんでした。彼は、神のようには行動しませんでした。悪魔が神に対して持っていた全ての嫌悪を彼は、人に向けました。彼は、人が成功する事が許せなかったのです。それで、悪魔は彼自身の策略を企てました！

悪魔の計画

惑わし/誘惑

悪魔は、天国の天使たちを惑わし/誘惑し、そして3分の1が反逆の内に、彼にしたがいました。彼は、惑わす誘惑を使う事に経験がありました。

神は人類に自由意志を与えていた - 彼らは、服従するか、服従しないかを選ぶことが出来ました。その選択の自由と共に、彼は反服従に対して罰則をも与えられました。

創世記 2:17 ... 「しかし善悪を知る木からは取って食べてはならない。それを取って食べると、きっと死ぬであろう」。

彼自身を変装して隠した
神(の事)を質問した

悪魔は気付かれないうちに入ることが出来る様に、彼自身を蛇に変装することを選んだ。彼は園に入る権利は全くありませんでした、そしてもし悪魔が堂々と変装なしで歩いて来たならば、アダムは彼を追い出してしまっていたでしょう。

創世記 3:1a さて主なる神が造られた野の生き物のうちで、蛇が最も狡猾であった。

“カニング”(狡猾)とは、陰険である、又は賢いを意味します。

悪魔はイブと話した時、蛇の身体の中にいました。デーモン達は、今日も尚身体を所有します。それが、彼らが成し遂げたい悪のための彼らの変装とカバー(覆い)です。

創世記 3:1b 蛇は女に言った、「園にあるどの木からも取って食べるなど、本当に神が言われたのですか」。

悪魔は神が言った事を(疑問的に)質問しました、そして同時に、罪に対する罰則を残して行きました。

◆ 神が言った事を引用した

悪魔は、神の言葉を彼の惑わす誘惑に捻じ曲げて入れるために、引用した事に気付きましょう。

創世記 3:2,3 女は蛇に言った、「私達は園の木の実を食べることはゆるされていますが、ただ園の中央にある木の实については、これを取ってたべるな、これに触れるな、死んではいけないからと、神は言われました」。

イブは、神が実際言った事に、“触る”を付け加えましたが、彼女はそれでも罰則を覚えていました。

◆ 悪魔の嘘

4節b ”あなたは、決して死なないであろう。”

悪魔は、神が言った事を否認/抗弁しました、がしかしイブは、それでも聞き続けました。それから悪魔は、罪に対しての報酬を約束しました。

◆ あなたは神の様に成るであろう

5節 それを食べると、あなた方の目が開け、神のように善悪を知る者となることを、神は知っておられるのです」。

悪魔はイブとアダムに “あなた達の目は開かれて、神と同じ様に成るだろう!”と、言いました。彼らは、既に神の様でしたが、悪魔は、彼らを更にもっと欲しいと思う罠に落とし入れました。

アダムとイブは罪を犯した

両方が罪を犯した

多くの場合私達は、悪魔が蛇に変装してイブの所に来た時、彼女一人を思い浮かべます。それは、聖書に書かれている箇所が言っている事ではありません。6節では、“彼女は彼女と一緒に居た夫にも与えた、そして彼は食べた。”と、私達は読みます。

彼らの両方共、神の言葉に従う事を止め、彼らの自然の感覚に従った、そして悪魔の言うことを聞きその実をたべました。

6節 女がその木を見ると、それは食べるに良く、目に美しく、賢くなるには好ましいと思われたから、その実を取って食べ、また共にいた夫にも与えたので、彼も食べた。

アダムとイブが神に背きそしてその実を食べた時、神の性質は、彼らを去りました。彼らは、栄光の光を着せられていました — 神の性質 — 今では彼らは、裸になってしまいました。

善悪を知る知識の木を使うことで、悪魔はアダムとイブをだましました、罫をかけて彼らを打ち負かしました。

悪魔は変わっていません。彼の使うて(作戦術)は、今日も同じです！

彼らは残された

- ◆ 打ち負かされた
- ◆ 裸で

悪魔が彼らをだまし惑わしてしまいました、そして人類は彼らの覆いも、主権も、また権威をも剥ぎ取られました。

創世記 3:7 すると、二人の目が開け、自分たちの裸であることがわかったので、いちじくの葉を綴り合わせて、腰に巻いた。

- ◆ 恐れて
- ◆ 隠れている

悪魔はアダムとイブを打ち負かしました。さて、以前のこの地球の支配者たちは、茂みの後ろに萎縮して隠れていました！

創世記 3:10 彼は答えた、「園の中であなたの歩まれる音を聞き、わたしは裸だったので、恐れて身を隠したのです」。

- ◆ それでも尚神のイメージの中

アダムとイブが罪を犯した後でさえ、彼らはそれでもやはり、神のイメージによって創られた物であったということを理解することは、重要です。然しながら彼らは、もはや彼らの内に神の命を持っていませんでした。彼らは、靈的に死んでいました。

創世記 9:1, 2, 6 神はノアとその子らとを祝福して彼らに言われた、「生めよ、地に満ちよ。地のすべての獣、空のすべての鳥、地に這うすべてのもの、海のすべての魚は恐れおののいて、あなた方の支配に服し、…

人の血を流すものは、人に血を流される、神が自分の形に人を造られたゆえに。

人は尚も…者であった：

- ◆ 実を結ぶ
- ◆ 倍増する
- ◆ 地球を満たす
- ◆ 従わせる
- ◆ 主権と統治権を持つ

今は、これが額に汗を流して、苦痛の中で終えたことでしょう、そして全ての生き物たちは、人類を常に恐れて生きてでしょう。

復習

神はアダムとイブをこの地球を治めるために創造しました。然しながら、人が神に逆らって神の意思に相反する彼の意思を行った時、彼は靈的にしにまし

た。彼は彼の神から与えられている権威と主権を盗まれました。

神の御心は、男と女が権威と主権を持つことでした。

悪魔の思ひは、人類が神に対抗して反逆することでした。

アダムとイブは選ぶ選択を持っていた -彼らは、動かす/訓練するための意思を持っていました。

彼らは、彼らの意思を悪魔と一列に合わせました。

悪魔はアダムから称号/名称を盗んだ：
この世の統治者、
この世の君主。

人が罪を犯した後

降り掛かった呪い

◆ 蛇の上に

蛇が悪魔にその身体を使う事を許してしまったので、呪いは全ての蛇の上に向けられた。

創世記 3:14 主なる神は蛇に言われた、お前はこの事を、したので、すべての家畜、野のすべての獣のうち、最も呪われる。お前は腹で、這い歩き、一生、ちりを食べるであろう。

◆ 女の上に

2つの部分の呪いが女たちの上に向けられた。彼女は苦痛の中、子供を産むだろう、そして男が彼女を治めるであろう。

創世記 3:16 次に女に言われた、「私はあなたの産みの苦しみを大いに増す。あなたは苦しんで子を産む。それでもなお、あなたは夫を慕い、彼はあなたを治めるであろう」。

女がイエスを彼女の個人的な救い主として受け入れた時、彼女は彼女のために創造されていた地位を取

り戻します。イエスが彼女のために呪いとなりました。

ガラテヤ人 3:13 キリストは、私達のために呪いとなって、私達を律法の呪いから贖い出して下さった。聖書に、「木にかけられる者は、すべて呪われる」と書いてある。

◆ 男の上に

男に上にかかった呪いは、彼が食物を蓄えるために労苦して、土地を耕すだろう。

創世記 3:17 更に人に言われた、「あなたが妻の言葉を聞いて、食べるなど、私が命じた木から取って食べたので、あなたは一生、苦しんで地から食物を取る。

◆ 地球の上に

地球も又、呪われた。

18, 19節 地はあなたのために、いばらとあざみとを生じ、あなたは野の草をたべるであろう。あなたは顔に汗してパンを食べ、ついに土に帰る、あなたは土から取られたのだから、あなたは、ちりだから、ちりに帰る」。

◆ 悪魔の上に

悪魔が人類に対し彼の偉大な勝利を得た正にその時、神は、彼の上に呪いを断言した。

創世記 3:15 私は恨みを奥、お前と女との間に、お前の末との間に。彼はお前のかしらを砕き、お前は彼のかかとを砕くであろう」。

神が悪魔に話しました、蛇の中に居た(悪魔に)、そして女の種(子孫)が彼の頭を踏み砕くであろうという事を彼に言いました。

身受け/救済の約束！

悪魔の上に掛けられた呪いは、またメシア(救い主)の来臨の最初の約束でもありました。その“種”(子孫)というのは、一人の女から生まれるべきであったイエスについての預言でした。

悪魔はイエスの足の下であろう。彼の頭は、踏み潰され手打ち傷を負うであろう。

将来/未来のシンボル(象徴)

人類の墮落についての話の中には、将来についての多くのタイプやシンボル等があります。

◆ 無花果(いちじく)の葉

アダムとイブが彼ら自身を覆うために使った無花果の葉は、彼自身の罪を隠すための人の試みの象徴です。それらは、人によってデザインされた(形作られた)宗教を象徴しています。

◆ 動物は屠殺された

最初に流された血はアダムとイブを覆うために神によってなされました。これは、世界中の罪の贖いとして殺害されて下さる御方であるイエスの印、もしくはタイプ(典型)でした。

神の計画

人種(Humanrace)の歴史上の最も暗闇の時です。でも、神は人類のための救いの計画を持っていました。

イエス・キリスト、神の息子が、彼の自らの自由意志によって、彼の命を私達のために与えるだろうということ。

彼の死によって、彼は悪魔の敗北をもたらすだろう。悪魔はイエスの踵を打つであろう、しかしイエスは悪魔の頭を砕くであろう。悪魔の権威は砕かれ、そしてその権威は、神の元々の計画通りに人に返還されるであろう。

悪魔の計画

悪魔の惑わし

悪魔は、神のように見えそしてまた、行動する男と女を嫌悪することも、恐れることも決して止めてはいないのです。彼の惑わしの計画は、決して止まっていません。惑わしを通して、霊的リーダー達は、

時代を経て彼らの能力を盗まれてしまっているのです。彼らは、“盲人の盲目リーダー”に成ってしまっているのです。

悪魔の任務

闇の世の統治者達は、各々の国民と、それぞれの男も、女も、そして子供たちも、束縛状態にするために割り当てられています。悪魔は彼の勢力を完全戦闘計画の中に入れ込み、組織立てました。それらの教授(インストラクション)は、盗み、殺し、そして破壊することです。

神は彼らが、罪に対しての赦しを持つことが出来る様に、そして彼との霊的交わり(懇談)の中を歩んで行ける様に、人間性(人道)に律法をもたらしめました。しかし、4,000年もの間悪魔は、人類の不忠実のために、地上の主権を持って生きました。

**この惑星を治めるために
創造された人々は：
盲目で道の端で物貰いしている、
道徳的欠陥/病気の霊に縛られた、
デーモン達の連合軍団に占領されている、
神と似たものに創造された顔と身体は、
非常に恐ろしい(いかめしい)らい病/ハンセン病に食い取られている。
王位に付きそして治めるために創造された男達と女達は、
敗北の中で生きていた！**

復習のための質問

1. 悪魔は、なぜその様に、「男と女」と呼ばれた生き物を激しく/猛烈に嫌悪したのか説明しなさい。
2. 人の罪と墮落の結果を述べなさい。
3. 創世記の3:15に表されている様に、何が神の贖いの約束でしたか？

レッスン 4 そしてイエスが来た - 神の計画

最初のアダムー最後のアダム

神は彼の息子を遣わした

アダムとイブが最初に罪を犯した時、神は彼の息子を遣わすことを約束しました、その女の種(子孫)を、悪魔の頭を踏み砕くために。(創世記 3:15) パウロはこの出来事とそしてそれが、その最初の贖い主の約束に関係していることを話しています。

ガラテヤ人 4:4,5 しかし、時の満ちるに及んで、神は御子を女から生まれさせ、律法の下に生まれさせて、おつかわしになった。それは、律法の下にある者を贖い出すため、私達に子たる身分を授けるためであった。

人の持つ神との関係と彼の権威は、イエスが十字架上で死んだことによって代理/身代わりの犠牲によって回復されるべきものでした。

罪から、その罰則から、そして律法からの呪いを生じる結果から贖われて、人が神の家族として再び生まれ直すことができた。人は、新しい創造物に成ることが出来ました。人はもう一度、神の霊を自分自身の中に受け取る事が出来ました。

アダムが罪をもたらした

アダムの不忠実を通して罪がこの世に入って来ました。

ローマ人 5:12 このようなわけで、一人の人によって、罪がこの世に入り、また罪によって死が入ってきたように、こうして、すべての人が罪を犯したので、死が全人類に入り込んだのである。

イエスがもたらした

◆ (神の)義

一人の人、イエスの完全忠実を通して、多くの人々が義(正しい者)と成る事が出来ました。

19 節 すなわち、一人の人の不従順によって、多くの人が罪人とされたと同じように、一人の従順によって、多くの人が義人とされるのである。

◆ 良い知らせ

アダムとイブが罪を犯した後、彼らは神が近づいて来るのを知ったとき、彼らはヤブの茂みの後ろに隠れました。今度は、神の息子(御子)、イエスが、やって来ました、そして御使いたちは言いました、“恐れてはいけません！これは貴方がたのための良い知らせです。”

ルカ 2:10,11 御使いは言った、「恐れるな。見よ、すべての民に与えられる大きな喜びを、あなた方に伝える。今日ダビデの町に、あなた方のために救い主がお生まれになった。この方こそ主なるキリストである。

◆ 人々への平安

一人の御使いがその夜、ベツレヘムの丘側の上の羊飼いたちに伝言し始めました、しかし天での喜びは非常に大きかったので、霊の領域が、自然界の領域に破裂/溢れ出しました。

13,14節 するとたちまち、おびたしい天の軍勢が現れ、御使いと一緒になって神を賛美して言った、「いと高きところでは、神に栄光があるように、地の上では、御心にかなう人々に平和があるように」。

なんと素晴らしい約束が与えられたことでしょうか、キリスト/救い主が生まれた丁度その時に。“地上に平安、人々に好意/喜びあれ!”

宇宙全体が感じたその喜びを言い表す言葉は全くありません。

御使いたちは非常に興奮しました彼らは羊飼いたちの目の前の景色に彼らの賛美を歌うために溢れ出しました

星たちでさえ彼(主)の誕生を宣言しました!

イエスはこの地球上で一人の人として機能した！

イエスはこの地球上に居た間、神としての権威と能力をもって機能しましたか、それとも一人の—聖霊によって権能を与えられた人としてですか？

イエス、最後のアダム

パウロはイエスを最後のアダムとして(参照した)引き合いに出した。

1 コリント人 15:45 聖書に「最初の人アダムは生きたものとなった」と書いてあるとおりである。しかし最後のアダムは命を与える霊となった。

イエスは、最後のアダムとして、この地球上で彼が最初のアダムがするために創造されたように、権威をもって歩み、そして奉仕をされました。

この事を理解することは非常に重要なのです、なぜならそれは、最後のアダムが律法を満たすことによるのみ、私達に律法からの自由をもたらす事が出来るからなのです。人間で居ることによるのみ、彼(主)は、私達の救い主に成ることが出来ました。彼が、人として、悪魔を打ち負かす事が、最初のアダムから悪魔が盗んだ権威を勝ち取り返すために必要だったのです。

アダムの後イエスが、最初の完璧な人だったので、彼(主)が、アダムに与えられた権威を持っていました。聖霊が彼の上に臨んだ時、彼は彼の内に神の力をもまた持ちました。

イエスのバプテスマ

◆ 神の霊が彼の上に臨んだ

バプテスマのヨハネは神の霊がイエスの上に降りたのを見ました、そしてこの出来事は非常に重要だったので、四つの福音全てに記録されました。(マルコ 1:10, ルカ 3:22, ヨハネ 1:32).

マタイ 3:16 イエスはバプテスマを受けるとすぐ、水から上がられた。すると、見よ、天が開け、神の御霊が鳩のように自分の上に下って来るのを、ご覧になった。

◆ 奇跡が行われた

イエスは、彼の初めの30年間の生活の中で全く奇跡は行いませんでしたが、彼が公共の奉仕(ミニストリー)を始めるべき時に、聖霊が彼の上に臨みました。その時から、聖霊の力の中で、イエスの奇跡の奉仕が始まりました。

神の霊と共に機能している神の権威は、勝利のパワーイン(力の双子)です！

**イエスは神としての
権利を捨てた(一旦横に置いた)**

◆ 彼は(神としての)彼自身を明け渡した(空っぽにした)

使徒パウロは私達に、この地球上に彼(主)が来られた時のキリスト(救い主)の思いを見抜く洞察を与えてくれます。パウロは、イエスが彼の神としての全ての特質(属性/象徴)を横に置いたという事を書きました。

ピリピ人 2:5-8 キリスト・イエスにあっていただいているのと同じ思いを、あなた方の間でも互いに生かさない。キリストは、神の形であられたが、神と等しくあることを固守すべき事とは思わず、かえって、己をむなしうして僕の形をとり、人間の姿になられた。その有様は人と異ならず、己を低くして、死に至るまで、しかも十字架の死に至るまで従順であられた。

イエスは望んで:

- ☐ 彼自身評価のない者と成った
- ☐ 下僕としての姿をとった
- ☐ 人と同じ様な物として来た
- ☐ 彼自身がへりくだった
- ☐ 死に至る迄忠実に成った

イエスは神の性質を持っていました、そして神と同等でしたそしてそれでも、彼は神としての全ての彼の権利を開け放し(無いものとし)ました、この地球上で一人の人として機能するために。彼は僕の姿/形、そして人と同じ様な似たもので同じ外見を彼自身

の上にとりました。彼は彼自身を(自ら)へりくだらせて、死に至る迄忠実(な者)に成られた。彼はこの地球に一人の人として、そして彼の能力が聖霊を通してこの地球上に来るために来ました。

なぜこれが重要だったのでしょうか？

アダム、最初の人、神に背いてそして悪魔に彼の権威を放棄/譲り渡してしまいました。イエスは、最後のアダムとして、神の霊によって力付けられた人として、この地球上でどんな事でもしたでしょう。彼はアダムがそうするために創造されていた様に、この地球上で機能するための完璧な人だったでしょう。

人の息子(御子)として

イエスがこの地球上に居た間、彼がその中で機能していた権威は、人の息子としてでした。次に続く文章の説で、ヨハネは全く同じ言葉の選択を用いました：“神の息子” — “人の息子。”

ヨハネ 5:25-27 よくよくあなた方に言うておく。死んだ人たちが、神の子の声を聞く時が来る。今すでに来ている。そして聞く人は生きるであろう。それは、父がご自分のうちに生命をお持ちになっていると同様に、子にもまた、自分のうちに生命を持つことをお許しになったからである。そして子は人の子(息子)であるから、子にさばきを行う権威をお与えになった。

死人が、神の息子(御子)の声を聞くでしょう。この地球の外側で、イエスは神の三位一体の部分として機能しました。

この地球上では、イエスは権威の中で歩みました、なぜなら彼は人の息子だったからです。人は、権威と主権を持って歩むために創造されました。それは権威を持っていた、人間イエスでした。それは彼が人の息子、最後のアダムだったからで、彼が神の息子だったからではありません。

**もしイエス様がそれをしたのなら、
私達もそれをする事が出来ます！**

イエスは、人が元々この地球上で行うために創造された事のみを行いました。彼は、聖霊の力の中で動きました、そして神の息子の力の中ではありませんでした！

これは、私達にとって、非常に重要なことです！もしイエスが、この地球上で一人の人として機能したとしたら、それなら私達は彼がした事と同じ事が出来るのです。私達は、ここ地球上で彼が、一人の人として居た時に行った全ての事をするために、同じ能力、権威、そして権利を持っているのです。

人として誘惑と直面した

私達と同じ様に誘惑にあった

神はアダムとイブに自由意志、選択、決断力を与えました。イエスは、この同じ(自由意志による)決断力を持っていました。完全に最後のアダムに成るためには、イエスは誘惑にも苦しまなければなりませんでした。

アダムとイブは三つの領域で誘惑されました：

- ◆ **身体** - イブは果実を見ました、それは食物として良い物でした。
- ◆ **魂** - 悪魔は彼女に知恵、善悪を知ることを約束しました。
- ◆ **霊** - 最後に悪魔は彼女に、彼女が神の様に成るだろうと約束しました。

イエスは、これらの三つの領域でも誘惑されました。

最初の誘惑 - 身体

イエスは、荒野に四十日間いました。悪魔は、この身体の弱さにある時に、イエスを彼の人間の身体が必要を満足させるために、彼の神の息子としての能力を使うように誘惑することを試みました。しかしイエスは、彼がこの地球上に、人の息子として機能

するために来たとき、神の特質を横に置いてしまいました。

㊦ 人間の必要を満足させる

マタイ 4:1-3 さて、イエスは御霊によって荒野に導かれた。悪魔に試みられるためである。そして、四十日四十夜、断食をし、その後空腹になられた。すると試みる者が来て言った、「もしあなたが神の子であるなら、これらの石がパンになるように命じてごらんください。」

誘惑する者が彼のところに来た時、彼は言いました、「もしお前が神の息子なのであれば、証明してみろ、神としての権利を取り戻してみろ。もしお前が神の息子なら、これらの石がパンに成るように命じてみろ。」

もしイエスが石をパンに変えていたら、彼は人として機能していなかったでしょう。彼は神としての特質を使っていたでしょう。もし彼がそれをしていたとしたら、悪魔は最初のアダムと最後のアダムの両方を打ち負かしてしまっていたでしょう。

㊦ イエスは答えた

イエスは悪魔に神の言葉を読み上げることによって答えた。

マタイ 4:4 イエスは答えて言われた、『人はパンだけで生きるものではなく、神の口から出る一つ一つの言葉で生きるものである』と書いてある」。

イエスが、彼自身を人と同一のものと認証したということに、気付いて下さい。

5説 それから悪魔は、イエスを聖なる都に連れて行き、宮の頂上に立たせて…

二番目の誘惑 - 魂

二番目の誘惑は、魂の領域の中でした。悪魔はイエスの人生に対しての神の御意に反して判断させるために、そして彼の感情によって行動するように誘惑した。

② 自分自身を証明せよ

6説 ... 言った、「もしあなたが神の子であるなら、下へ飛べ降りてご覧なさい。『神はあなたのために御使いたちにお命じになると、あなたの足が石に打ち付けられないように、彼らはあなたを手でささえるであろう』と書いてありますから」。

これは、全く同じ基本の誘惑の継続でした。“もしお前が神の息子なら、...” 悪魔は彼が神の息子であることを知っていた。イエスの地球上の生活は、人の息子として生きるべきものでした、最後のアダムとして。

② イエスは答えた

イエスは悪魔を、神の言葉を正しく話すこと(口から出すこと)によって打ち負かしました。イエスは彼が主であると知っていたそして悪魔はそれを知っていた。

7節 イエスは彼(悪魔)に言われた、『主なるあなたの神を試みてはならない』とまた書いてある」。

3つ目の誘惑 - 霊

三番目の誘惑において、悪魔はイエスにこの世の王国の全てを指し出しました。それはイエスがこの地球に来た理由だったのではなかったでしょうか？彼は悪魔から地球を勝ち取り戻すためにここに居たのではなかったでしょうか？

◆ この世の神になる

マタイ 4:8,9 次に悪魔は、イエスを非常に高い山に連れて行き、この世のすべての国々とその栄華とを見せて言った、「もしあなたが、ひれ伏して私を拝むなら、これらのものを皆あなたにあげましょう」。

悪魔は確かに、にこれらの王国をイエスに提供する権利を持っていました。悪魔は、アダムから彼の権威を惑わし、そして盗んでしまっていたので、その時はこの地球の統治者でした。

しかしイエスは悪魔から、御父に対して不忠実になるのであれば、どのやり方であっても、地球を取り戻す事に興味がありませんでした。

◆ イエスは答えた

イエスは、悪魔との論争に入りませんでした。彼は、彼(悪魔)と、誰がこの世を統治するかということに付いて言い争わなかったのです。イエスは彼に去るように言いました。彼は、再び神の言葉を口から出して言いました。

マタイ 4:10 するとイエスは彼に言われた、「サタンよ、退け。『主なるあなたの神を拝し、ただ神にのみ使えよ』と書いてある」。

再検討

もしイエスが、悪魔が彼にさせようと誘惑したように神の息子として行動していたら、彼は人の息子としての彼の権利を放棄してしまっていたでしょう。彼はもはや、人類の贖いを備えるための完璧な身代わりと成る資格を与えられていなかったでしょう。

悪魔はイエスに、彼が正に勝ち取り返すために来ていたそのものを提供しました。— この地球を統治する権利。悪魔のやり方でそれをするには、非常に簡単だったでしょう。— 十字架上での死無しで。イエスは、彼の血を流す事無しでは、そこには罪の赦しが無かったという事を知っていました。

正にイエスが、十字架上で死んでいくその時、悪魔は人々を通して、その同じ言葉でイエスを侮った。

マタイ 27:40 ... 言った、「神殿を打ち壊して三日のうちに建てる者よ。もし神の子なら、自分を救え。そして十字架から降りてこい」。

しばしば、悪魔は私達に、神が私達に既に約束して下さっているその事を提供するでしょう。全て私達がしなければいけない事は、ある領域においての妥協です。私達の彼(悪魔)の策略に勝つ事の方法は、神の言葉を知って、そして口から出して言う事です。

イエス、“誘惑の抵抗”の私達の模範

イエスは誘惑を理解します。

イエスの誘惑の話としてマタイで語られているように、私達は如何にして悪魔がこの領域において、打ち負かされるべきかを学ぶ機会が与えられています。私達はまた、選択の自由を持っています。私達もまた、誘惑されるでしょう、しかしイエスが勝利の中で歩き去ったように一私達もそうすることが出来ます！

パウロは、イエスが誘惑される事によって苦しんだので、彼は誘惑に合っているそれらの人々を助ける事ができるという事を述べています。

ヘブル人 2:18 主ご自身、試練を受けて苦しまれたからこそ、試練の中にある者たちを助けることができるのである。

イエスは私達と同じ様に誘惑された

私達はイエスが全ての領域において私達が合うであろう誘惑と全く同じ様に誘惑に合ったという事を知ることによって、大胆な確信を経験することが出来ます。彼がその誘惑に負けなかった様に、私達もまた神のもとに行って、誘惑に立ち向かうための、彼(神)の超自然の助けを得る事が出来ます。

ヘブル人 4:14-16 さて、私達には、諸々の天を通って行かれた大祭司なる神の子イエスがいますのであるから、私達の告白する信仰をかたく守ろうではないか。この大祭司は、私達の弱さを思いやることのできないような方ではない。罪は犯されなかったが、すべてのことについて、私達と同じように試練に会われたのである。だから、私達は、哀れみを受け、また、恵みにあずかって時期を得た助けを受けるために、はばかりことなく恵みの御座に近づこうではないか。

全ての誘惑は普通

悪魔の策略の一つは、私達に私達は(皆と)違っていると感じさせる事です、私達の誘惑はユニークなんだ、もしくは、他の人達が苦しんでいる事よりも難

しいんだと。しかし、全ての誘惑は普通によくある事です、そして神は私達がその下で立ち上がる事が出来るように、私達に逃れる道/方法を与えて下さっています。

1 コリント人 10:13 あなた方の会った試練で、世の常でないものはない。神は真実である。あなた方を耐えられないような試練に合わせることはないばかりか、試練と同時に、それに耐えられるように、逃れる道も備えて下さるのである。

イエスの見本に従いついて行く

イエスは、私達の見本です。正にイエスが、悪魔に神の言葉を用いる事によって答えた様に、私達も同じ事をするべきなのです。

悪魔がイエスに来た時、イエスは…をしなかった。

☒ 悪魔と議論

☒ 悪魔と推論

☒ 悪魔の考え方とする考慮

イエスは、書かれている神の言葉を引用して言った。

マタイ 4:4 イエスは答えて言われた、『人はパンだけで生きるものではなく、神の口から出る一つ一つの言葉で生きるものである』と書いてある」。

これが如何にして、悪魔が打ち負かされるかという方法です。神の言葉が、私達の口から流れ出なければいけないのです。

病気が私達の身体に襲いかかろうとする時、私達は、「彼の(イエスの)打ち傷によって、私は癒やされた。」と、書かれてある。」とすることが出来るのです。

貧困が私達の財政に立ち向かって来ようとする時、私達は、「私の神は、私の必要の一切を…供給して下さい。」と、書かれてある。」とすることが出来るのです。

悪魔が私達の子供達を迷いに導こうとする時、私達は、「全ての私の子供達は、主によって教えられる

であろう…」と、書かれてある。」とすることが出来るのです。

解決/解答を話す - 問題ではなく。

答えを話す - 必要ではなく、

神の言葉を話しそして信じる、

そして悪魔は：

全く、

完全に、

すっかり、

打ち負かされるのである！

そしてあなたは、勝利した者になるでしょう！

復習のための質問

1. なぜあなたが、イエスが彼の神としての権利を放棄して、そして彼が地球上にいた間、人として生きそして機能したということを知ることが、重要なのですか？

2. あなたは、イエスが人として地球上にいた間の機能について、どのような例を与えることが出来ますか？

3. イエスの見本に従って、どのようにしてあなたは、悪魔又は彼のディーモン(悪霊)達が、あなたを神に逆らわせる様に誘惑を試みる時、彼らをベストの方法で打ち負かす事が出来ますか？

レッスン 5

イエスは権威を持って奉仕した

全ての信者たちのための神の計画

イエス、人として

イエスはこの地球上では、一人の人として機能していました。彼は、目的を持って神としての彼の権利から彼自身を明け渡していた。彼は人として数々の誘惑に苦しんだ。彼は人として、悪魔に打ち勝ちました。

この地球上で権威を持っていたのは、その、人間のイエスでした。彼の権威は彼が人の息子だったからでした、最後のアダム、彼が神の息子だったからではありませんでした。

イエスは最後のアダムとして、神が最初のアダムがなるべきように創造されたところの全てを満たすために来られました。最初のアダムのための神の計画を満たすために、イエスはこの地球上で、完全な権威と主権のなかを歩きました。

イエスがその中を歩んだところの権威を理解することは、重要です。もしこの権威が、創世記において、神が人類に与えた権威であったなら、それなら、私達もまた今日、贖われている男女として同じ権威の中を歩むことができます。

ルカ 10:19 私はあなた方に、蛇やさそりを踏みつけ、敵のあらゆる力に打ち勝つ権威を授けた。だから、あなた方に害をおよぼす者は全く無いであろう。

イエスにあっての新しい創造物としてのみ、私達は神の計画の中に存在するために創造されている男性と女性になることができます。私達が福音を読みそして、完全な人として歩むイエスを見る時のみ、私達の生活のための神のパターンを理解する事、そして私達の人生の毎日を完全なる権威と主権の中で歩んで行くことができます。

ルカがイエスの権威について話す

最初のメッセージ

◆ “聖霊の力の中で”

イエスが、ヨルダン川でバプテスマを受けた時、聖霊が彼の地上での奉仕のための力を与えるために彼の上に下りました。その後直ぐに、彼が神の言葉を口に出して言うことによって、悪魔と彼の誘惑とに勝ち越したところの荒野に彼は導かれました。聖霊によって力を与えられた人として、この地球上での彼の権威を実地証明することで、彼は彼の地上の奉仕を始めるための準備が整えられていました。

彼は、この奉仕をガリレイで始めました、聖霊の力によって油が注がれて、権威を持って話すことによって。

ルカ 4:14, 16, 18-21 それからイエスは御霊の力に満ち溢れてガリラヤへ帰られると、その噂がその地方全体に広まった。

それから育ちになったナザレに行き、安息日にいつものように会堂に入り、(巻物/聖書を)朗読しようとして立たれた。

主の御霊が私に宿っている。貧しい人々に福音を宣べ伝えさせるために、私を聖別して下さったからである。主は私を使わして、囚人が開放され、盲人の目が開かれることを告げ知らせ、打ちひしがれ手いる者に自由を得させ、主の恵みの年を告げ知らせるのである」。

イエスは聖書を巻いて係の者に返し、席に着かれると、会堂にいるみんなの者の目がイエスに注がれた。そこでイエスは、「この聖句は、あなた方が耳にしたこの日に成就した」と説き始められた。

(イエスはイザヤ 61:1, 2を読んでいた)

二番目のメッセージ

イエスは、ナザレで語った後、彼はカペラナムで語った。そこでは、人々は彼の権威に驚き感激しました。

◆権威を持っていた

ルカ 4:31, 32 それから、イエスはガリラヤの町カペナウムに下って行かれた。そして安息日になると、人々をお教えになったが、その言葉に権威があったので、彼らはその教えに驚いた。

デーモン(悪魔と共に墮落した天使=悪霊、邪鬼)が追い出される

33-35節 すると、汚れた悪霊につかれた人が会堂にいて、大声で叫び出した、「ああ、ナザレのイエスよ、あなたは私達となんの関わりがあるのです。私達を滅ぼしに来られたのですか。あなたがどなたであるか、わかっています。神の聖者です」。

イエスはこれを叱って、「黙れ、この人から出て行け」と言われた。すると悪魔は彼を人なかに投げ倒し、傷は負わずに、その人から出て行った。

イエスは、そのデーモンに出て行くように命じた、そしてそれは、イエスの権威を知っていたので出て行った。

◆ “権威と力”

36節 みんなの者は驚いて、互いに語り合って言った、「これは、一体、何という言葉だろう。権威と力とをもって汚れた霊に命じられると、彼らは出て行くのだ」。

デーモン -病気-木々 -嵐の上にあるイエスの権威

マルコも又、カペラナムでのイエスの奉仕(ミニストリー)と、彼がその中で奉仕したその権威に対しての、人々の感激の驚きについて書きました。マルコは続けて、他のデーモンにとりつかれた者や病人が癒やされている事について言いました。

デーモンの上にある権威

イエスは、デーモン達の上に権威を持っていました。

40, 41節 日が暮れると、いろいろな病気に悩む者をかかえている人々が、皆それをイエスのところに連れてきたので、その一人一人に手を置いて、お癒や

しになった。悪霊も「あなたこそ神の子です」と叫びながら多くの人々から出て行った。しかし、イエスは彼らを戒めて、物を言うことをお許しにならなかった。彼らがイエスはキリストだと知っていたからである。

病気の上にある権威

イエスは、病気の上にある権威を持っていました。

マルコ 1:40, 41 一人のらい病にんが、イエスのところに願いに来て、ひざまずいて言った、「御心でしたら、清めていただけるのですが」。

イエスは深く哀れみ、手を伸ばして彼に触り、「そうしてあげよう、清くなれ」と言われた。

人間の身体の上にある権威を持っていました。

イエスは、縮んだ手の人に言いました。“あなたの手を伸ばしなさい!”

マルコ 3:1-3 イエスがまた会堂にひられると、そこに片手のなえた人がいた。人々はイエスを訴えようと思って、安息日にその人を癒やされるかどうかをうかがっていた。すると、イエスは片手のなえたその人に、「立って、中へ出てきなさい」と言い、

イエスは、その男の人が癒やされる事を知っていました。彼は言いました、“一歩前に出なさい。”

4, 5節 人々に向かって、「安息日に膳を行うのと悪を行うのと、命を救うのと殺すのと、どちらが良いか」と言われた。彼らは黙っていた。イエスは怒りを含んで彼らを見回し、その心のかたくなのを嘆いて、

その人に「手を伸ばしなさい」と言われた。そこで手を伸ばすと、その手は元どおりになった。

権威を持って、イエスは言葉を口から出しました、そしてその男の人は彼の手を伸ばしました、そして癒やされました。

創造物の上の権威

◆ いちじくの木を呪った

イエスは、いちじくの木の上に権威を持っていました。

マタイ 21:19 そして、道のかたわらに一本のいちじくの木があるのを見て、そこに行かれたが、ただ葉のほかは何も見当たらなかった。そこでその木に向かって、「今から後いつまでも、お前には実がならないように」と言われた。すると、いちじくの木はたちまち枯れた。

要素/成分の上の権威

◆ 嵐を静めた

イエスは、権威を持って風と海に向かって話しました、そして彼らは彼に従いました。

マルコ 4:35-38 さてその日、夕方になると、イエスは弟子たちに、「向こう岸へ渡ろう」と言われた。

そこで、彼らは群衆をあとに残し、イエスが船に乗っておられるまま、乗り出した。他の船も一緒に行った。すると、激しい突風が起こり、波が船の中に打ち込んできて、船に満ちそうになった。ところがイエス自身は、舳の方で枕をして、眠っておられた。そこで、弟子たちはイエスをおこして、「先生、私どもが溺れ死んでも、お構いにならないのですか」と言った。

イエスは、風を叱りつけました、そして海に向かって言いました。

39, 40節 イエスは起き上がって風を叱り、海に向かって、「静まれ、黙れ」と言われると、風はやんで、大渚になった。

イエスは彼らに言われた、「なぜ、そんなにこわがるのか。どうして信仰がないのか」。

イエスの言わんとしていることは、「なぜあなた達は、そんなに恐れているのか？あなた達が、嵐を静める事が出来たはずなのに。あなた達の信仰は、何処にあるのですか？」

41節 彼らは恐れおののいて、互い言った、「一体、この方誰だろう。風も海も従わせるとは」。

イエス様、私達の見本/手本

イエスは、私達がどのように権威の中で歩み、そして奉仕するべきであるのかという事の、私達の見本です。最後のアダムとしての地上での彼の業は、如何にして私達が、贖われている、そして回復されている人類として、今日地球上でイエスの業をするのかという事の見本です。私達は、私達が彼の業を行う時にイエスが行ったその同じ大胆な権威の中で、生きて奉仕するべきなのです。

ヨハネ 14:12 よくよくあなたがたに言う。私を信じる者は、また私のしているわざをするであろう。そればかりか、もっと大きいわざをするであろう。私が父の身元に行くからである。

イエスは熱を叱りつけました

イエスは、彼がペテロの義理の母の熱を叱りつけた時、権威を持って言いました。

ルカ 4:38, 39 イエスは会堂を出てシモンの家にお入りになった。ところがシモンの姑が高い熱を病んでいたため、人々は彼女のためにイエスにお願いした。そこで、イエスはその枕もとに立って、熱が引くように命じられると、熱は引き、女はすぐに起き上がって、彼らをもてなした(に使えた)。

ラザロの蘇り

イエスは、ラザロの墓で大胆にそして強制的な大きな声で言いました。

ヨハネ 11:43 こう言いながら、大声で「ラザロよ、出てきなさい」と呼ばわれた。

イエスの業をすること

イエスが行った全ての場所で、彼は人の息子としての権威を知っていることの結果から来た大胆さを持って奉仕しました。彼が、聖霊の力の内にある権威を解き放した時、彼は病人を癒やし、デーモン達を追い出し、そして死人を蘇らせました。彼は、そ

の当時とそして私達の現在との両方の信者達のための見本としてそれをして下さいました。

イエスは、弟子たちにその同じ権威の中で、彼が行っていた事と全く同じ業をするために奉仕(仕えること)をする様に言いました。

マタイ 10:8 病人を癒やし、死人をよみがえらせ、らい病人を清め、悪霊を追い出せ、ただで受けたのだから、ただで与えるがよい。

弟子たちは、イエスの業をする事が出来ました、なぜなら彼は、その中で彼が生きて奉仕したところの、その同じ権威を彼らに与えていたからです。

ルカ 10:19 私はあなた方に、蛇やさそりを踏みつけ、敵のあらゆる力に打ち勝つ権威を授けた。だから、あなた方に害をおよぼす者は全く無いであろう。

大胆な権威

イエスの奉仕は、恐れや気弱さの代わりに、大胆さと能力の見本を備えて下さいました。

2 テモテ 1:7 というのは、神が私達に下さったのは、臆する霊ではなく、力と愛と慎みとの霊なのである。

イエスは、大胆に福音を説教しました、彼が権威を持って奉仕するにつれて、悪霊達を追い出しそして病気の人々に彼の手を置き、そして彼らが癒やされて行くのをみました。イエス、私達の見本は、これらの別れの言葉を私達に残して去りました。

マルコ 16:15-18 そして彼らに言われた、「全世界に出て行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えよ。信じてバプテスマを受ける者は救われる。しかし、不信仰の者は罪に定められる。

「そして信じる者にはこのような印が伴う： 私の名によって悪霊を追い出し； 新しい言葉を語り； 又、蛇を掴むであろう； そしてもし毒を飲んでも、決して害を受けないであろう； 彼らが病人に手を置けば、(病人は)癒やされる。」

私達がイエスの見本に、最後のアダムとして後について行く時、私達は最初のアダムが創造者に対する

様に、イエスの言葉に従っている私達自身を見い出すでしょう。私達はこの地球とそして全てこの地球上にあるもの、病気、束縛、貧困や死をも含めて治め、そして主権を取っている私達自身を見い出すでしょう。私達は今再び、私達が行うために創造されたところの事を行うでしょう。

悪魔の恐怖

イエスがこの地球上で奉仕していた時、悪魔は恐怖に怯えた顔をしていたに違いないでしょう。ここに、一人の人として機能しているイエスが、主権を取って、権威の中で語りそして奉仕し、そしてそうすることによって悪魔の業を滅ぼしていました。

1 ヨハネ 3:8b 神の子が現れたのは、悪魔のわざを滅ぼしてしまうためである。

今日私達が、イエスの見本に従ってついて行くにつれて、私達も又、私達の‘神が与えている’権威の中で生き、そして奉仕するでしょう。私達も又、悪魔の業を滅ぼすでしょう。

復習のための質問

1. ヨハネ 5:25-27によると、イエスは、神の息子としての権威の中で機能しましたか、それとも人の息子としてでしたか？
2. イエスとその要素の上の、病気や病弊の上の、そしてディーモンの霊達の上の権威の中で歩んでいた例/見本を上げなさい。
3. この地球上で、権威の中で行動していたイエスに対しての、人々の反応はどんなものでしたか？
4. あなたがこの地球上で、権威の中歩む時、今日の人々の反応は、どんなものだったでしょうか？

レッスン 6 十字架から王座へ

イエスの死

悪魔の王国は滅ぼされていること、そして悪魔はイエスが、殺されてしまわなければいけないと分かっていた。だまし惑わしは、天使達に効果を発揮しました。それは、アダムとイブに対して効果を発揮しました。しかしそれは、イエスに対しては、効果を発揮しなかったのです！

然しながら、もう一度、悪魔は、だまし惑わしを使いました。彼はイエスの死を要求するように、当時の宗教的リーダー達を惑わしだしました。アダムとイブの惑わしを達成するために蛇の身体に入ったのと同じ様に、悪魔は裏切りを達成するために、ユダの身体を乗っ取りました。

悪魔は、イエスが死ぬ事のみを求めていたのではなく、彼(悪魔)はイエスが、苦しいじめられる事をも求めていた程、イエスを忌み嫌っていました。全ての悪魔の支配、権力、闇の世の主権者達、そして天上にいる悪の霊達が、満足そうにほくそ笑んでやって来ました。彼らは、彼ら自身の滅びが来た時、最も大きな勝利と祝賀のそのモーメント(正にその瞬間)のために準備していたに違い無かったですよ。

イエスは裏切られ、鞭打たれ、十字架に付けられた。

偉大な一だまし惑わす者…惑わされた

悪魔、その偉大なだまし惑わす者は、彼自身に惑わされました。彼の盲目の嫌悪の中で、彼はその死とその後に起きる蘇りによって、彼を完全に滅ぼし、そして人類を彼らの罪の結果から贖うであろう神の人の、その死の原因になってしまったという事に気が付きませんでした。

イエスは、十字架上で死ぬことによって、私達の罪のための代価を支払いました。

彼は私達の全ての罪、病気、病弊、そして虚弱/病身等を いじめと苦しみの場所に引き渡しました。全てのこの世の罪が、イエスから取り除かれた時、神の力が彼に臨んだ。この偉大な霊の戦闘の時に、その間中、全世界が揺れた。イエスは、悪魔と彼の手下のデーモン達を略奪/強奪した。悪魔は、アダムの時代から、人々を彼の権威の下に取り押さえていた。イエスは、デビル(悪魔)から権威の鍵を取り上げました。

何が地球上に起きましたか？

そこには、三日間の戦いがありました。イエスは、ヨナが三日三晩クジラの腹の中に居た様に、彼も三日三晩地球の心臓(中心)に居るであろうということを書いていました。

マタイ 12:40 すなわち、ヨナが三日三晩、大魚の腹の中にいたように、人の子も三日三晩、地の中にいるであろう。

- ◆ 幕屋が真っ二つに裂かれた
- ◆ 地球が揺れ動いた(地震が起きた)
- ◆ 岩が二つに割れた
- ◆ 墓が開いた

もはや人々が、これ以上神から別れて居るべきでは無かったのです。宮の中の幕屋が、聖所の聖所に入るところの、真っ二つに裂かれました。イエスが、地球の心臓の中で死との帯/繋がりを壊したその時、地球は激しく乱暴に揺れました。

マタイ 27:50-53 イエスはもう一度大声で叫んで、ついに息をひきとられた。すると見よ、神殿の幕が上から下まで真二つに裂けた。また地震があり、岩が裂け、また墓が開け、眠っている多くの聖徒たちの死体が生き返った。そしてイエスの復活の後、墓から出て来て、聖なる都に入り、多くの人に現れた。

霊の世界では、何が起きましたか？

戦いは、私達の身代わりであるイエスと、そして悪魔と彼の悪魔的軍勢達の間が始まりました。

イエスが十字架に釘付けにされている間、悪魔は、全ての彼のデーモン達がこの決定的な出来事を目撃するために、召集したに違い無かったです。これは、彼らの誰もが逃す/見落とすには、余りにも重要過ぎました！イエスが十字架上で死んで行く時、悪魔と彼のデーモン達は、残忍/極悪な喜びを彼らがそう成るだろうと思っていた、彼らの最も偉大な大勝利の瞬間のために準備していたに違い無かったです。

イエスの十字架の上に掛けられた命の無い身体を見る事が、悪魔にとって十分ではありませんでした。盲目の嫌悪の中で、悪魔は叫んだに違い無かったです、「奴はよみの国の深みに落とされなければならない！」悪魔と彼のデーモン達は彼らの無知な愚かさの中で、気分の引き立てを始めたに違い無かったです。しかし地獄の門がボタンとイエスの後ろで閉まったので、短い祝賀に終わりました。

イエスが、全ての人類の恐ろしい数々の罪と一緒に重荷を負って、彼が底無しの穴の深みにどうすることも出来ないかの様に降りて下さった時、黄泉の全てのいじめ/苦痛を受け、苦しんで下さいました。そこで、彼は、身をかがめてそして既に犯されたところの、もしくは、(今後)いつか犯されるところのあらゆる罪を運んで来たのです。彼は、私達の全ての罪をこれ以上、覚えられていることの無い様に、葬りました。

詩篇 103:12 東が西から遠いように、主は我らのとがを我らから遠ざけられる。

ダビデ(王)によって予告された

- ◆ 罪の罰則をその身に負った
- ◆ 罪の判決をその身に負った

ダビデは、イエスの死後彼に何が起きたのか記述しました。私達の罪をその身に負っているのです、悪魔がイエスの最後の破壊を計画した様に、イエスは助けようの無い様にみえました。彼は、黄泉の最も深い部分に下りました。ここで、信じないままで死んだ者達ちが、いじめと苦痛、そして判決の中に放置されて居ました。

イエスは、私達の(全ての)罪の罰則と審判をその身に負って、地獄にいきました。

詩篇 88:3-6 私の魂は悩みに満ち、私の命は陰府に近づきます。私は穴に下る者のうちに数えられ、力のない人のようになりました。すなわち死人のうちに捨てられら者のように、墓に横たわる殺された者のように、あなたが再び心にとめられない者のようになりました。彼らはあなたの御手から断ち滅ぼされた者です。

あなたは私を深い穴、暗い所、深い淵に置かれました。

ダビデは、またイエスの復活についても、預言しました。

詩篇 16:10 あなたは私を陰府に捨て置かれず、あなたの聖者(聖なる御方)に墓を見させられないからである。(英語では、墓ではなく corruption=破滅)

イザヤによって予告された

預言者イザヤは、イエスの死と復活を予告しました。

イザヤ 53:8-11 彼は暴虐な裁きによって取り去られた。その代の人のうち、誰が思ったであろうか、彼は我が民のとがのためにうたれて、生けるものの地から断たれたのだと。彼は暴虐を行わず、その口には偽りがなかったけれども、その墓は悪しき者と共に設けられ、その塚は悪をなす者と共にあった。

しかも彼を砕くことは主のみ旨であり、主は彼を悩まされた。彼が自分を、とがの供え物となすとき、その子孫を見ることができ、どの命を長くすることができる。かつ主のみ旨が彼の手によって栄える。

彼は自分の魂の苦しみにより光を見て満足する。義なる我がしもべはその知識によって、多くの人を義都市、また彼らの不義を負う。

神の子羊

- ◆ 多くの罪をその身に負った
- ◆ 不義を行う者達のためにとりなした

イザヤ53:12 それ故、私は彼に大いなる者と共に物を分かち取らせる。彼は強い者と共に獲物を分かち取る。これは彼が死に至るまで、自分の魂を注ぎだし、とがある者と共にかぞえられたからである。しかも彼は多くの人の罪を負い、とがある者のためにとりなしをした。十字架の上で、イエスは旧約の犠牲の子羊としての役割を成就しました。

ヨハネ 1:29 その翌日、ヨハネはイエスが自分の方に来られるのを見て言った、「見よ、世の罪を取り除く神の子羊。…」

スケープゴート(罪人の身代わりのヤギ)

イエスが地球の深み迄、私達の罪を代わりに運んで下さったので、彼は人々の罪を運び出すスケープゴートによって描かれた役割を成就しました。

レビ記 16:10, 21, 22 しかし、身代わりやぎ(スケープゴート)のためのくじに当たったやぎは、主の前に生かしておき、これをもって、贖いをなし、これを(罪人の)身代わりやぎとして、荒野に送らなければならない。

そしてアロンは、その生きているやぎの頭に両手をおき、イスラエルの人々の諸々の悪と諸々のとが、すなわち、彼らの諸々の罪をその上に告白して、これをやぎの頭にのせ、定めておいた人の手によって、これを荒野に送らなければならない。こうしてやぎは彼らの諸々の悪をになって、人里離れた地に行くであろう。すなわち、そのやぎを荒野に送ら(放さ)なければならない。

イエスは捕まえられたままで居ることが出来なかった！

イエスが私達の罪をその穴の最も深い部分に運び捨てた時、神の力が彼の上に現れた。

使徒行伝 2:27 … あなたは、私の魂を黄泉に捨て置くことをせず、あなたの聖者(聖なる御方)が朽ち果てるのを、お許しにならないであろう。

地獄(黄泉)の門は、イエスに向かって打ち勝つ事は、出来なかったのです。地獄の門を突破することで、彼は死、地獄と墓、の鍵を悪魔から奪い(引っ掴み)取りました。

デビル/悪魔とデーモン達は打ち負かされました。昔からの/古代の戦いと敵達の負滅の歴史は、次の説の特徴を見抜く特別な洞察を与えます。

コロサイ人 2:15 そして、諸々の支配と権威との武装を解除し、キリストにあって凱旋し、彼らをその行列に加えて、さらしものとされたのである。

力と権威は、私達が学んで来たように、悪魔のデーモン達の組織に関してのことです。

古代では、軍隊が彼らの敵を打ち負かした時は、彼ら(敵)から武器を取り上げて、衣服を脱ぎ取らせ、鎖で互いに繋いで縛り、そして征服した国に対して、奴隷として、彼らを全くの不名誉/侮辱の中に行進させ返しました。

イエスは個人的に、悪魔と全てのデーモンを武装解除しました。彼は彼らの武器を彼らから取り除きました。彼は、彼らの衣服を剥ぎ取りました。彼は、彼らを公共の見せ物にしました。

数日前にイエスが衣服を剥ぎ取られ吊るされ、裸で十字架上で辱められた時に祝って居たそれらの者達は、今同じ様に辱められました。

悪魔はアダムとイブを打ち負かした

- ☐ 彼らを裸のままに置き去った、
- ☐ 彼らの権威を剥ぎ取った。

悪魔はイエスを完全に打ち負かしてしまったと思った

- ☐ そして彼の衣服を剥ぎ取り、裸で十字架の上に吊るした。
- ☐

然しながら、イエスは悪魔と彼のデーモン達を打ち負かした

- ☐ 彼らを裸のままに置き去った、

☐ 全ての永遠のために彼らの権威を剥ぎ取った
!

その復活

イエスの十字架上で死によって罪の罰則を支払い、そして私達の罪をその穴の深みに運び出してしまい、彼は、死と地獄とそして墓の鍵を悪魔から取り去りました。

悪魔を打ち負かして彼の死の力を破壊してしまったので、その墓は、もはやイエスの身体を保持している事は出来なかったのです。力に満ちた凱旋の爆裂の中、イエスは死から蘇りました。悪魔と全てのデーモン達は、打ち負かされました!

エペソ人 1:19-21 ... また、神の力強い活動によって働く力が、私達信じる者にとっていかに絶大なものであるかを、あなた方が知るに至るように、と祈っている。神はその力をキリストのうちに働かせて、彼を死人の中からよみがえらせ天上においてご自分の右に座せしめ、彼を、すべての支配、権威、権力、権勢の上に置き、また、この世ばかりでなく来たるべき世においても唱えられる、あらゆる名の上におかれたのである。

イエスは天に上がられた

凱旋の中

イエスは大勝利を成し遂げて天に引き上げ戻されて、そして、彼は彼の訓練の中に囚われ人を導きました。

エペソ人 4:8-10 そこで、こう言われている、「彼は高いところに上った時、虜を捕えて引き行き、人々に賜物を分け与えた」。

(さて「上った」と言う以上、また地下の低い底にも降りて来られたわけではないか。降りて来られた者自身は、同時に、あらゆるものに満ちるために、諸々の天の上にまで上られた方なのである。)

イエスが囚われ人を虜に導いた時、私達は征服する元帥/将軍/軍曹として打ち負かされた敵を行列/示威行進に導いているイエスの映写を描きます。 - 武器

を取り除かれ、裸にされ、鎖に繋がれ、全ての天の御使い達の前であからさまな光景の中、完全に辱められました。悪魔とあらゆるデーモンは、完全に打ち負かされてそして彼らの完全な侮辱の内に、公共の見せ物にされました。

イエスが悪魔から権威の鍵を取り除いた時、彼はアダムが彼の不忠実によって悪魔に明け渡してしまった、権威の鍵を取り返しました。イエスが悪魔の手からそれらの権威の鍵を奪い返した時、彼は悪魔の人類と、そしてこの地球の上を支配する権威を取り除きました。イエスは、個人的に悪魔と全てのあらゆる彼のデーモンを打ち負かしてしまいました。

喜びと共に受け取った

神の息子が、天国に彼の法的権利がある場所への帰省時には、確かに言葉では言い表せない天の軍制の喜びがありました。

どのように人がその勝利的帰省を述べることが出来たのでしょうか？

ダビデが、この時の記述を私達に与えるよう霊によって感じさせられました。

詩篇 24:7-10 門よ、頭をあげよ。とこしえの戸よ、あがれ。栄光の王が入られる。

栄光の王とは誰か。強く勇ましい主、戦いに勇ましい主である。

門よ、こうべをあげよ。とこしえの戸よ、あがれ。栄光の王がはられる。

この栄光の王とは誰か。万軍の主、これこそ栄光の王である。セラ(沈黙)

公言/宣言された勝利！

使徒ヨハネは私達に、イエスの言葉を与えてくれます、イエスが彼の勝利を宣言したように！

黙示録 1:18 また、生きている者である。私は死んだことはあるが、見よ、世々限りなく生きている者である。そして、死と黄泉との鍵を持っている。

イエスとその鍵(複数)を持った！

イエスは叫びながら天国に入って来た、「お父さん、私がその鍵を持っています！悪魔は打ち負かされました、そして私がその鍵を持っています！」

イエスは、アダムとイブを園で騙し惑わした時にそれらを盗んだ悪魔から取り上げた、権威の鍵を彼の手の中に持ちました。

鍵(複数)の重要さ

イエスは悪魔から鍵を奪い返しました、がしかし彼は、それらを保持しませんでした。彼はそれらを人類に戻して下さいました。

最初の教会についての黙示の中で、イエスは弟子達に、彼が天の王国の鍵を彼らに与えるだろうという事を言いました。

マタイ 16:19 私は、あなたに天国の鍵を授けよう。そして、あなたが地上でつなぐことは、天でもつなぐがれ、あなたが地上で解くことは天でも解かれるであろう」。

イザヤにはもう一つの鍵についての参照があります。

イザヤ 22:22 私はまたダビデの家の鍵を彼の肩に置く。彼が開けば閉じる者なく、彼が閉じれば開く者はない。

過去は、鍵というものはとても大きくて、重くてそして、飾り立てたものでした。裕福な人達がしばしば、それらの重さの故にそれらを彼らの肩の上に乗せて運びましたが、それ以上にそれらの美しさによるためでした。しばしば二人か三人の奴隷達が、彼らの肩の上に鍵を運んでいる裕福な人達の後についていたでしょう。これは、富/資産の見せ物でした。

イザヤが来たるメシヤに付いて預言したとき、彼は肩の上で運ばれていた鍵の特徴に付いて紹介していました。

イザヤ 9:6a 一人のみどりごが我々のために生まれた。一人の男の子(英語=御息子)が我々に与えられた。まつりごと(政治)はその肩にあり、…

その鍵(複数)、統治と権威は、イエスの御手の中で
した！イエスは、それらの鍵を取って、そしてそれ
らを彼の教会/信者達に与えました！

この地球上の権威は
回復されました
人類に対して！

復習のための質問

1. イエスの十字架上での死後、彼は何処に私達の全ての罪と不義を持って行きましたか？
2. 聖書の箇所が、イエスが諸々の支配と権力を無効力にして、そして彼らを公共の辱めに置いたという事を言っている時、何を意味していますか？
3. 黙示録1:18でイエスが話した鍵によって、何が説明/表されてますか？

レッスン7 人類に回復された権威

イエスの業は完了！

イエスの業/働きは、完了されました、そしてまた完了されます！

神がアダムとイブを創造した時、彼は彼らにこの地球を治めるための権威を与えました。罪を通して彼らは、悪魔に対してのこの権威を失くしました。そこでイエスは、完全な人として、最後のアダムとして、神が創造した人間が、(それを)成すべきための、全ての行儀作法/方法によって、この地球上で歩られました。イエスは、全ての人類の罪を彼自身の上に負って、そしてその罪の罰則を支払うために、十字架上で死にました。

彼は全ての人類のために死というものを苦しんで下さいました。彼は、それらの罪をその穴の深みに運んでしまい、そしてそれから彼自身の神の力がイエスの上に臨みました。彼は、悪魔と全てのデーモン達を地獄の門で打ち負かしました。イエスは、権威の鍵(複数)を取り返しました。

イエスは、悪魔が人類から盗んだ全てのものを取り返しました。イエスによって、神が、アダムとイブが成るべきそして持つべきために創造した全てを再要求/請求されました、そして人類に取り返されました。

イエスが建てようとしていた教会の事を彼が最初に話した時、彼は言いました、

マタイ 16:18b, 19 そして、私はこの岩の上に私の教会を建てよう。黄泉の力もそれに打ち勝つことはない。私は、あなたに天国の鍵を授けよう。そして、あなたが地上でつなぐことは、天でもつなぐれ、あなたが地上で解くことは天でも解かれるであろう」。

天国のイエス

ヘブル人の書の著者は私達に今日のイエスの位置を与え(教え)ます。

ヘブル人 10:12, 13 しかるに、キリストは多くの罪のために一つの永遠のいけにえを捧げた後、神の右に座し、それから、敵をその足台とするときまで、待っておられる。

イエスは、御父の右側に座しておられます。

ダビデも又、イエスの現在今この日の位置を予告しました。

詩篇 110:1 主は我が主に言われる、「私があなたの諸々の敵をあなたの足台とするまで、私の右に座せよ」と。

ダビデはイエスが、御父の右側に座するであろうという事を預言しました。

イエスは待っています

ダビデとヘブル人の書の著者の両者が、イエスは御父の右の座に座って居られることより以上のことをされているという事を私達に言いました。イエスは、彼の敵達が彼の足台にされる迄待って居られます。

誰が彼の敵達を彼の足台にするのでしょうか？

イエスは、主の贖い取られた者達が、彼らの(既に)取り戻されている権威を発見することそして、悪魔は打ち破られた敵軍だという事を実地教授することを、待って居られます。イエスの御業は完了です！彼は、彼の敵達が彼の足台にされることを待っておられます。悪魔を彼の居場所に置く事は、信者達の働き/業です。信者達は、悪魔と、そして彼のデーモン達をイエスの足の下に置かなければいけないのです。

イエスは、彼がするべきであった事は全て終えています。今や責任は、私達のものです。私達は、この地球上での彼の身体です。私達は、彼の手であ、彼の脚であり、彼の足なのです。私達が、今日私達の世界を治めるべき者達なのです。

使徒パウロは、重要で、力に満ちた祈りを全ての聖徒達のために祈りました。彼の祈りは、御父の右手に居るイエスの地位、私達の地位、私達的能力とそして私達の責任をカバー(覆う、含む、守る)しました。

エペソ人 1:18-23 ... あなた方の心の目を明らかにして下さるように。そして、あなた方が神に召されている望みがどんなものであるか、聖徒たちがつぐべき神の国が以下に栄光に富んだものであるか、また、神の力強い活動によって働く力が、私達信じる者に撮って以下に絶大なものであるかを、あなた方が知るに至るように、と祈っている。神はその力をキリストのうちに働かせて、彼を死人の中からよみがえらせ、天上においてご自分の右に座せしめ、彼を、すべての支配、権威、権力、権勢の上に置き、また、この世ばかりでなく来たるべき世においても唱えられる、あらゆる名の上におかれたのである。

そして、万物をキリストの足の下に従わせ、彼を万物の上にかしらとして教会に与えられた。この教会はキリストの身体であって、すべてのものを、すべてのもののうちに満たしているかたが、満ち満ちているものに、他ならない。

イエスの地位/ポジション

使徒パウロによれば、

- ☑ イエスは死から蘇られた
- ☑ 天の右手側で座して居られる
- ☑ 全ての支配、能力、権力とそして主権の遥か上にある
- ☑ 与えられる限りのあらゆるタイトル(肩書き、称号)の上である
- ☑ 全てのことは彼の足の下にある
- ☑ 頭となる様に任命されている

イエスは、全てのデモニックパワー(悪魔的力)の遥かに上です。イエスは、与えられる可能な、もしくは

は、これから与えられるかもしれないあらゆる肩書き/称号の遥か上です。全ての事は、イエスの足の下です。

力についてのスタンダード(標準/基準)

二つの力の標準が有ります。旧約に一つとそして、もう一つは、新約に有ります。旧約では、力の標準は、航海を分けた事でした。

新約では、力の標準は、イエス・キリストの復活の力でした、そして今もまだ(変わり無く)そのままです。

パウロは書きました、

エペソ人 1:20a (Eng. 19b,) 神はその力をキリストのうちに働かせて、彼を死人の中からよみがえらせ、...

信者達の位置/地位

使徒パウロは、信者達が輝かされる(霊による知識が与えられる)様に；彼らが(以下の事を)知るに至る様にということを祈りました：

- ◆ 彼(主)の召しにある希望
- ◆ 彼の遺産相続にある栄光の富
- ◆ 彼の能力にある超越した偉大さ
- ◆ 私達は彼の身体
- ◆ 私達は彼が充満した物である

私達は、彼の遺産相続にある栄光の富とそして私達信じる者達のための、彼の能力の超越した偉大さの知識を持つべきなのです。私達は、イエスを死から蘇らせたところの、その同じ偉大な力の中で機能するべきなのです！

彼(主)の満ちた物

パウロは、“彼の身体であり、全ての中を全てで満たす御方の満ちた物である、その教会”のために祈りました。

もし私達、彼の教会が、神の息子の内にある虚しさ、もしくは空間を満ちしているのなら、いつこの空

間が、生じたのでしょうか？おそらくこの空間は、ルシファー、油注がれている守護するケルブが、彼の背き/反逆の中で彼に従った天使達と共に天から追い出された時に戻るでしょう。

エゼキエル 28:14 私はあなたを油注がれた守護のケルブと一緒に置いた。あなたは神の聖なる山にいて、火の石の間を歩いた。

天使的リーダーシップ

神性には三位一体が有るように、また天使達のリーダーシップの中にも、三位一体の様に見えるものが有ります。ミカエルと、ルシファーと、そしてガブリエルが居ました。

◆ 三分の一

ルシファーが反逆した時、“彼の天使達”は、彼と一緒に追い出されたと言われました。

黙示録 12:7-9 さて、天では戦いが起こった。ミカエルとその御使いたちとが、龍と戦ったのである。龍もその使いたちも応戦したが、勝てなかった。そして、もはや天には彼らのおる所がなくなった。

この巨大な龍、すなわち悪魔とか、サタンとか呼ばれ、全世界を惑わす年を経た蛇は、地に投げ落とされ、その使いたちも、もろともに投げ落とされた。

悪魔の天使達、そして又、彼と共に地球に降り落とされたと記述された天使達は、天の全ての天使達の三分の一を含んでいました。

黙示録 12:4a その尾は天の星の三分の一を掃き寄せ、それらを地に投げ落とした。

◆ ミカエル

ミカエルは、唯一、大天使/御使いの頭として照会/参照された。

ユダ 1:9a 御使いのかしらミカエルは、...

悪魔、“ドラゴンと彼の天使達”に対抗して戦った勇士/戦士-天使達が、ミカエルと彼の天使達でした。

黙示録 12:7 さて、天では戦いが起こった。ミカエルとその御使いたちとが、龍と戦ったのである。龍もその使いたちも応戦したが、...

おそらく、大天使としてのミカエルと、三分の一の天使達は、彼の命令の下に御父に奉仕するのでしょう。

◆ ガブリエル

おそらく常にメッセンジャー(伝達者)として現れるガブリエルと、三分の一の天使達は、彼の命令の下に聖霊に奉仕するでしょう。

彼はザカリアに彼の妻エリザベスが、“まさに誕生から聖霊に満たされている”息子を生むであろうというメッセージ(伝言)を与える為に現れました。

ルカ 1:19 御使が答えて言った、「私は神の御前に立つガブリエルであって、この喜ばしい知らせをあなたに語り伝えるために、使わされたものである。...

ガブリエルは、またマリアという名の処女にも現れました。

ルカ 1:30, 31, 35 すると御使が言った、「恐れるな、マリヤよ、あなたは神から恵みを頂いているのです。見よ、あなたは身ごもって男の子を産むでしょう。その子をイエスと名付けなさい。...

マリアは尋ねました、「どうしてその事が起き得るのでしょうか...私は男性をしりませんから?」

御使が答えて言った、「聖霊があなたに望み、いと高き者の力があなたを覆うでしょう。それ故に、生まれ出る子は聖なるものであり、神の子(息子)と、唱えられるでしょう。

ガブリエルは、聖霊の働きを啓示/知らせました。

ルシファー/黎明の子

ルシファーと彼の天使達が、神の息子(御子)に奉仕していたのは、その時だったのではなかったでしょうか?

ルシファーは、ケルブのカバー(守護/覆い隠す物)として奉仕していました、そして彼はそれぞれの側に居たケルブ達カバーする物として描かれていました。彼は、神の御座の直ぐそばに居ました。私達が見てきたように、カバーは、賛美と礼拝(ワーシップ)の奉仕でした。

突然のルシファーの背きによって、彼と彼の天使の全ては、天から追い出された時、この空間は、いかにして埋められるべきだったのでしょうか？

御父は、ミカエルとガブリエルに、御子に対しての奉仕においての、この空間/空虚を満たすために、彼らの天使達の何人かを再び交付/割当るように求めましたか？私達には、その出来事に付いての記録はありません。

もしかして神が人類を彼のイメージに創造した時、彼の礼拝者達になるために、天の場所で彼と一緒に座に着かされるため、彼側に居て、そして全ての永遠を通して、彼と共に統治し君臨するためという、より良い計画を彼が(人類に対して)、持っていたという事だったのではないのでしょうか？

空虚/空間は満たされた(埋められた)

神のイメージによって創造された男と女は、救いの瞬間にもう一度創造者が、彼自身を彼らの息に吹き込んだ時にのみ完成されて満たされることが出来ず。彼は、人生の空間を彼自身を持って埋めます。今や、彼の身体は、彼の中の空間を賛美と礼拝(ワーシップ)の*奉仕の中で彼ら自身を彼に捧げることによって満たすためです。*(教会での奉仕という意味ではなく、個人的に日々の生活習慣として、神に対する奉仕です。)

始めは、ただ一つの奉仕のみ有りました、賛美と礼拝の奉仕でした。それが止まった時、多くの他の奉仕が必要と成りました—癒やし、解放、和解、回復そしてその他の奉仕です。

賛美と礼拝の奉仕が教会(信者達)に回復された時に、これらの他の奉仕は、もはや今日のキリストの身体/肢体の内には必要であるようにはならない、という事になるのではないのでしょうか？

私達が神の賛美とワーシップのなかで奉仕する時間をより多く過ごせば過ごす程、私達は癒やしや開放、またはその他の奉仕の必要の減少が、私達の生活の中にある事を発見するでしょう。

私達は、神にとって大切なのです！私達は、彼にとっての満たしであるべきなのです。私達は、彼に賛美とワーシップをもって、奉仕するべき物なのです。そうする事によって、私達は彼の肢体として、「全てにおいて全てを満たす御方である彼の充滿した物」になるのです。

エペソ人 1:22, 23 そして、万物をキリストの足の下に従わせ、彼を万物の上に頭として教会に与えられた。この教会はキリストの身体であって、すべてのものを、すべてのもののうちに満たしている方が、満ち満ちているものに、他ならない。

私達が神を賛美し、ワーシップする時に、私達はただ以前のルシファーと彼の天使達の機能を満たすだけでは無く、また彼らが打ち負かされて、そしてもう天には居場所が無いという事実を行動で見せているのです。私達は、彼らを辱めているのです、そして彼らを私達の足の下にしているのです。私達が主の御前で踊る時に、私達は悪魔を私達の足の下にしている行動そのものによって滅びの中に踏み砕き入れているのです。

注意：賛美とワーシップの掘り下げた深い学びのためには、A. L.とジョイス ギルによる 賛美とワーシップの手引きを読んで下さい。

これは私達に何を意味しているのか

十字架上でイエスの御業によってとその後続く出来事によって、悪魔は打ち負かされてしまいました！それぞれ全てのデーモンは、打ち負かされています！イエスは彼らを滅ぼしそして彼らを跡形も無い物にしました！彼は、彼らから、大きな“ゼロ”を取り出しました。

- ☒ なぜ今私達は、悪魔に私達を打ち負かさせているのでしょうか？

- ☒ なぜ私達は、彼に私達の家庭、私達の町(市)、そして私達の国を私達から奪わせているのでしょうか？
- ☒ なぜ私達は、彼に私達を病気に掛からせているのでしょうか？
- ☒ なぜ私達は、貧困を受け入れているのでしょうか？

答えは、私達は学んで、そして私達がイエス・キリストにあって何を与えられているのかを知らなければいけないということです。私達は、私達の回復されている権威を発見しなければいけないのです。

私達は解放されている！

使徒パウロがコロサイ人にした時、彼は言いました、私達は…：

- ◆ 解放されました
- ◆ 変換されました
- ◆ 贖われました
- ◆ 赦されました

コロサイ人 1:13, 14 神は、私達を闇の力から救い出して、その愛する御(息)子の(王国)の支配下に移して下さった。私達は、この御(息)子によってあがない、(彼の血を通して)、すなわち、罪の赦しを受けているのである。

王国はここにあります

神の息子(御子)の王国とは、何ですか？

イエスが弟子達に祈ることを教えた時、彼はこれらの言葉を祈りました。

マタイ 6:10 御国(主の王国)が来ますように。御心が天に行われるとおり、地にも行われますように。

神の国は、何か将来のどこかに在るものではありません。今ここに在ります。私達は闇の主権から解放されました、そして息子(御子)の王国に、贖いと私達の罪の赦しを通して入れられました。

私達の回復された権威の知識をもって、私達はこの地球上で、激しい天の王国の促進に重要な部分をもつであろう力強い男性、そして女性に成ることが出来るのです。

マタイ 11:12 バプテスマのヨハネの時から今に至るまで、天国は激しく襲われている。そして激しく襲う者たちがそれを奪い取っている。（*英語=天国は、一心に強烈な集中力で入ろうとするもので押し寄せられている、そして一心に入ろうする者がそれを勢力的に得ている。）

パウロは、イエスについての素晴らしい記述を続けました。

コロサイ人 1:15-18 御子は、見えない神の形であって、すべての造られたものに先だって生まれた方である。万物は、天にあるものも、見えるものも見えないものも、位も主権も、支配も権威も、みな御子にあって造られたからである。これらいっさいのものは、御子によって造られ、御子のために造られたからである。彼は、万物よりも先にあり、万物は彼にあって成り立っている。そして自らは、そのからだなる教会のかしらである。彼は初めの者であり、死人の中から最初に生まれた方である。それは、ご自身がすべてのことにおいて第一の者となるためである。

私達の頭イエス

イエスは：

- ◆ 神のイメージ(姿形)
- ◆ 全ての物の創造者です
- ◆ 全ての物の先にあった
- ◆ 全ての物を一緒に維持している
- ◆ 教会、身体の頭です
- ◆ 始まり、死人の中から最初に生まれた

イエスは、私達の頭です。私達は、彼の身体です。彼の身体は、全ての信者達によって作り上げられています。彼の身体として、私達は既に悪魔の主権から救い出されたものそして私達が、神の息子、イエ

スと共に主権を持ち君臨する新しい王国へと、変換されているものとして記述されています。私達は贖われているものそして全ての罪から完全に赦されているものとして記述されています。

身体の頭、イエスは、天に居ます。残りの彼の身体は、彼の足も含めて、地球上です。人(人間)が、彼の(自分に与えられている)絶対的主権の機能を満たさなければいけないという地球上にです。私達が、神の王国を効果的な霊の戦闘によって激しく促進しなければいけないのは、ここです。

悪魔の位置

イエスの足の下(裏)

神は悪魔をイエスの足の下に置きました、そしてイエスを教会に関する全てに置いての頭となるように任命しました。

エペソ人 1:22 そして、万物をキリストの足の下に従わせ、彼を万物の上にかしらとして教会に与えられた。

私達の足の下

ローマ人 16:20a 平和の神は、サタンをすみやかにあなた方の足の下に踏み砕くであろう。

一人の人の足の下になるという事は、完全に征服された、打ち負かされた、そして従わされている物の有り様/光景です。それは、絶対的な権威と支配の光景です。

創世記 3:15 …私は恨みを置く、お前と女との間に、お前のすえと女のすえとの間に。彼はおまえの頭を砕き、おまえは彼のかかとを砕くであろう」。

私達の権威の下

悪魔はイエスの足の下です、なぜならイエスは、完全に彼を打ち負かしてそして、彼とそして全ての彼のデーモン達との遥か上に昇られた。悪魔と彼のデーモン達は、今私達の足の下に置かれるべきなのです、私達が私達の回復された権威を発見し、そしてその権威を地球上で使い始める時に。

上から踏み砕いた

ルカが、悪魔の位置の明白な有り様を私達に与えます。彼は、私達の足の下に踏み砕かれるべき物です。私達は、また私達をどんな方法によっても、傷める/害を与えるものは何も無いという事が約束されています。

ルカ 10:19 (アンプリファイド訳) 見よ！私はあなた方に、蛇や蠍を踏みつけ、(肉体力も精神力もそして、能力でも) 敵の(所有する)あらゆる力に打ち勝つ権威と力を授けた。だからあなた方にどんな害をも加えるものは何もない。

助け出されて、連れて来られ、贖われ、赦され、そして地球上で完全に神のイメージに回復されている人類は、今悪魔を彼(人類)の足の下に踏み砕きそして、彼(悪魔)は打ち負かされている敵である事を実地教授するべきなのです。

イザヤが、悪魔の終末を記述した時、彼は足の下に踏み潰された物として彼の有り様を参照しました。

イザヤ 14:18-20 諸々の国の王たちは皆尊いさまで、自分の墓に眠る。しかしあなたは忌み嫌われる月足らぬ子のように墓の外に捨てられ、剣で刺し殺された者でおおわれ、踏みつけられる死体のように穴の石に下る。

あなたは自分の国を滅ぼし、自分の民を殺したために、彼らと共に葬られることはない。どうか、悪を行う者の子孫は永久に名を呼ばれぬことのないように。

司令の鎖(CHAIN OF COMMAND)

彼が人の息子として彼の権利を放棄していたように、また、イエスが彼の御父のもとへと、天に戻った時、神の息子として全ての彼の権利を彼自身の上に取り戻されました。

地球上での人の権利

神として、彼はもはや地球上では主権を用いることはしませんでした、なぜならここでは、彼は全ての主権を人に与えたからです。

それは人が、(それを)するために創造されているので、地球上で悪魔を彼の足の下にしなければいけないのです。

預言者イザヤは、私達に素晴らしい、励ましの預言を与えました。

- ◆ 義の中であなた方は設立されるでしょう
- ◆ 圧迫はあなた方から遠く離れているでしょう
- ◆ あなた方は恐れることは何也不会ありません
- ◆ 恐怖はあなた方に近づくことはないでしょう
- ◆ もし誰かが、あなた方を襲っても、かれらは報復するでしょう
- ◆ あなた方に対抗して作られる武器は何一つ成功しないでしょう
- ◆ あなた方は、あなた方に対抗して来る全ての舌を論破するでしょう

イザヤ 54:14-17 あなたは義をもって堅く立ち、しえたげから遠ざかって恐れることはない。また恐怖から遠ざかる、それはあなたに近づくことがないからである。

たとい争いを起こす者があっても私によるのではない。すべてあなたと争う者は、あなたのゆえに倒れる。

見よ、炭火を吹き起こして、その目的にかなう武器を造り出す鍛冶は、私が創造した者、また荒らし滅ぼす者も、私が創造した者である。すべてあなたを攻めるために造られる武器は、その目的を達しない。すべてあなたに逆らい立って、争い訴える舌は、あなたに説き破られる。これが主のしもべらの受ける嗣業であり、また彼らが私から受ける義である」と主は言われる。

私達の遺産は、出生時からの権利によって、私達に属する(私達の物とされている)ところの何かです。

イザヤは預言しました、

これは主の僕らの受ける嗣業である！

復習のための質問

1. もし全ての物がイエスの足の下であるのならば、なぜデビル/悪魔とデーモンの力が今も尚この地球上に彼らの悪行を続ける事が、出来るのでしょうか？

2. なぜ神は、イエスが彼の十字架上での死とそして彼の甦りによって、悪魔を打ち負かしてしまった後に、悪魔が彼の悪を地球上で続ける事を許しているのでしょうか？

3. もしあなたが、あなたの回復されている権威の中を歩むべきであるならば、あなたの人生において、どのような変更が必要ですか—悪魔が打ち負かされている敵であるということを実地教授するために？

レッスン 8 昨今の悪魔の戦略

何が起きたのか？

2000年後 - 悪魔はその権威を見せかけていた(ふりをする/装う)

2000年の後、私達は見えています：
人々がイエスの御名無しで生きていること。

貧困の中で生きている人々
罪の中で生きている人々
敗北の中で生きている人々
離婚する人々
彼らの薬物使用している子供達と一緒にいる人々
カルト(宗教団体、教団、集団、ビジネス組織)の中で礼拝している人々

なぜ悪魔は今でも尚、彼がこの世の神であるかの様に行動しているのですか？

彼はイエスによって打ち負かされています
そして無力の位置に置かれています。

イエスは私達を開放するための彼のする部分をし終えています。

私達は私達の部分をしましたか
私達の能力—主権—権威をもって？

悪魔の戦略

盗み、殺し、滅ぼす事

全ての時代を通して、悪魔の志しは変わっていません。

ヨハネ 10:10a 悪魔が来たのは、盗み、殺し、そして滅ぼす為に他ならない。

デビル/悪魔は、私達を非常に嫌悪しているので彼は、彼の悪魔的な軍隊のランク/階級を通して、盗み、殺しそして滅ぼすための命令を与えました！任務は私達から私達の生活と奉仕のために必要なものを盗み取る様に公布されています。司令は、病気/虚弱/

道徳的欠点、殺人や自殺を通して私達を殺すために公布されています。悲劇的事故等は、私達を殺そうとして企てられています。悪魔は彼の宣告/布告/法令を公布しました、「どんな事をして、彼らは滅ぼされなければならないのだ!」

もしデーモン達が、私達を殺すことが出来なかったなら、おそらく、彼らは私達が私達の“神から与えられている”奉仕を完了する事から遅れさせたり、止めさせたりしたことを報告する事ができるでしょう。

病気(病身/虚弱/道徳的欠点)の霊の任命

悪魔は、病気の霊のデーモンを使うことによって、私達の健康を盗もうと試みます。

ルカ 13:11-13 そこに十八年間も病気の霊につかれ、かがんだままで、身体を伸ばすことの全くできない女がいた。イエスはこの女を見て、呼び寄せ、「女よあなたの病気は治った」と言って、手をその上に置かれた。すると立ちどころに、その身体が真っ直ぐになり、そして神を讃え始めた。

ヨハネ 5:5 さて、そこに三十八年の間、病気に悩んでいる人があった。

圧迫、困惑、迫害するため

使徒パウロは、彼の人生と奉仕に於いての悪魔の攻撃を記述します。主のためのパウロの奉仕を止めようとする悪魔の全ての試みが、失敗に終わった事を見る/知るのは、元気付けられる事です。

2 コリント人 4:8,9 私達は、四方から患難を受けても窮しない。途方に暮れても行き詰まらない。迫害に会っても見捨てられない。倒されても滅びない。

悪魔は、私達の人生の中での良い事と益な事の全てを攻撃します:

- ◆ 結婚
- ◆ 子供達
- ◆ 家族
- ◆ 友達

- ◆ ミニストリーズ(奉仕)
- ◆ 健康
- ◆ 喜び
- ◆ 平安

私達の守備

敵の戦略を知る

男も女も知識の欠乏のために滅びます。もし彼らが、悪魔が彼の目標である、盗む事、殺す事、そして滅ぼす事を止めようとするなら、彼らはその敵と彼の戦略を知らなければならないのです。

- ◆ 悪魔は死をもたらす - 神は命をもたらす。
- ◆ 悪魔は嫌悪をもたらす - 神は愛をもたらす。

イエス

◆ 死を滅ぼした

イエスは死を滅ぼし、そして命と不死をもたらしました。

2 テモテ 1:10 ... そして今や、私達の救い主キリスト/イエスの出現によって明らかにされた恵みによるのである。キリストは死を滅ぼし、福音によって命と不死とを明らかに示されたのである。

◆ デビル/悪魔の力を滅ぼした

イエスはデビルを滅ぼしましたそして、私達を死の恐怖から自由にしました。

ヘブル人 2:14, 15 このように、子たちは血と肉と共にあずかっているのです、イエスもまた同様に、それらをそなえておられる。それは、死の力を持つ者、すなわち悪魔を、御自分の死によって滅ぼし、死の恐怖のために一生涯、奴隷となっていた者たちを、解き放つためである。

◆ 奴隷から解放した

悪魔は、私達を奴隷に留めている権利を全く持っていません。私達は、イエス・キリストにある信仰を通して、悪魔と彼の王国に対しての奴隷の束縛から贖われています。

悪魔か又は、彼のデーモン達が、盗み、殺し、滅ぼすために来た時、彼らは弱かったり、守られていなかったり、又は守備の無いような私達を見つけてはいけません。そうではなく神の言葉の知識を通して、私達がイエスの血で覆われているのを、見つけられなければいけません。私達は信仰の盾をもって固く立たなければいけません。私達は大胆に、そして恐れる事無しに神の言葉を預言者イザヤと共に語らなければいけません。

イザヤ 54:17a すべてあなたを攻めるために造られる武器は、その目的を達しない。…

悪魔の最上の優先順位 - 私達から神の言葉を奪うこと

あなたの剣を研ぎなさい

もし私達が御言葉を私達の思いと霊の内に持っていないなら、私達は悪魔と彼の後に従う者達を御言葉で打ち負かす事は出来ません。イエスは、私達に私達の人生の全ての歩みの中で、豊かさを持って欲しいのです。もし私達がこれを持っていないのなら、私達は悪魔に奪われてしまっているのです。

私達は、私達が既にこの戦争に勝っているという事を悟る為に、私達がキリストにあって何者なのかを知らなければいけません！

農夫の例え話 - 勝利のための黙示/啓示

例え話	イエスは例え話を説明した
<p data-bbox="402 384 620 415">マルコ 4:3-8</p> <p data-bbox="203 443 813 604">聞きなさい、種まきが種を蒔きに出て行った。蒔いているうちに、道端に落ちた種があった。すると、鳥が来て食べてしまった。</p> <p data-bbox="203 625 813 787">他の種は土の薄い石地に落ちた。そこは土が深くないので、すぐ芽を出したが、日が上ると焼けて、根がないために枯れてしまった。</p> <p data-bbox="203 808 813 926">他の種はいばらの中に落ちた。すると、いばらが伸びて、ふさいでしまったので、実をむすばなかった。</p> <p data-bbox="203 947 813 1064">他の種は良い地に落ちた。そして生えて、育って、ますます実を結び三十倍、六十倍、百倍にもなった」。</p>	<p data-bbox="927 317 1370 348">イエスは例え話を説明した</p> <p data-bbox="1040 384 1258 415">マルコ 4:14-20</p> <p data-bbox="841 443 1300 474">種まきは御言葉を蒔くのである。</p> <p data-bbox="841 495 1451 657">道端に御言葉がまかれたとは、こういう人たちのことである。すなわち、御言葉を、聞くと、すぐにサタンが来て、彼らの中にまかれた御言葉を奪って行くのである。</p> <p data-bbox="841 678 1451 921">同じように、石地にまかれたものとは、こういう人たちのことである。御言葉聞くと、すぐに喜んで受けるが、自分の中に根がないので、しばらく続くだけである。その後、御言葉のために困難や迫害が起こってくると、すぐつまずいでしまう。</p> <p data-bbox="841 942 1451 1144">また、いばらの中にまかれたものとは、こういう人たちのことである。御言葉を聞くが、世の心使いと、富の惑わしと、その他いろいろな欲とが入ってきて御言葉をふさぐので、実を結ばなくなる。</p> <p data-bbox="841 1165 1451 1327">また、良い地にまかれたものとは、こういう人たちのことである。御言葉を聞いて受け入れ、三十倍、六十倍、百倍の実を結ぶのである」。</p>

多くの者はこの例え話が、蒔かれている救いの種と、伝導の異なる結果の事だと理解しています、そしてこれは真理です。

然しながら、イエスは彼(主)が、神の言葉に付いて話しているのだという事を言いました。イエスは、私達が新しい神の言葉の新しい理解を受け取った時、悪魔は直ちにそれを私達から盗むために来るだろうということ事を教えました。これは、私達の人生に於いてのどんな分野にも当てはまる神の言葉なのではないでしょうか。

何度あなたは人々が、主との密接な時間の後いつも試練が来ます、と言うのを聞いた事がありますか？素晴らしいコンファレンスや、セミナーの後、全ての事が、“バラバラに崩れ落ちる”みたいです。イエスは、これが、悪魔が御言葉を盗みに来ている事だと言いました。

三つの事柄の一つ

御言葉が蒔かれた時、三つの事が起き得ます：

- ◆ 悪魔が苦難(試練)や迫害をもって来る時、もし私達が憤慨したら、悪魔は直ちにその御言葉を盗むかもしれません。
- ◆ その御言葉はこの世の生活の心配や、富による欺きやもしくは、罪深い願望によって絞め殺されてしまうかもしれません。
- ◆ その御言葉が、根を生やし芽が出ることを許されるかもしれません。

苦難 / 迫害

イエスは、彼らに苦難や迫害が、御言葉の故に起こされるだろうと警告しました。

マルコ 4:17 ... 自分の中に根がないので、しばらく続くだけである。その後、御言葉のために困難や迫害が起こって来ると、すぐつまずいてしまう。

悪魔は直ぐにきます

悪魔はもし神の言葉の黙示/啓示が私達の心に留まる事が許されたなら、その同じ御言葉によって、彼は打ち負かされる事になるであろうという事を知っています。彼が、私達の人生に敗北をもたらす為に、多くの計画と戦略とを持っている中で、彼の最優先はいつも神の言葉の黙示/啓示を私達から奪い取る事です。イエスは、悪魔はいつも、彼らが聞いた時に来ると言いました。

マルコ 4:15 道端に御言葉がまかれたとは、こういう人たちのことである。すなわち、御言葉を聞くと、すぐにサタンが来て、彼らの中にまかれた御言葉を奪って行くのである。

イエスは海を制した

イエスが教えることを終えた時、彼と弟子達は船に乗って出掛けました。直ぐにイエスは後ろで眠りにつきました。その時悪魔が、この世の命の心配をもって来ました。

マルコ 4:35-41 さてその日、夕方になると、イエスは弟子たちに、「向こう岸へ渡ろう」と言われた。

そこで、彼らは群衆をあとに残し、イエスが船に乗っておられるまま、乗り出した。他の船も一緒に行った。すると、激しい突風が起こり、波が船の中に打ち込んできて、船に満ちそうになった。ところが、イエス自身は、船のともの方で枕をして、眠っておられた。そこで、弟子たちはイエスを起こして、「先生、私どもが溺れ死んでも、お構いにならないのですか」と言った。

イエスは起き上がって風をしかり、海に向かって、「静まれ、黙れ」と言われると、風はやんで、大なぎになった。イエスは彼らに言われた、「なぜ、そんなに怖がるのか。どうして信仰がないのか」。彼らは恐れおののいて、互いに言った、「一体、この方は誰だろう。風も海も従わせるとは」。

このやって来た嵐とは、御言葉が蒔かれたら直ぐに悪魔がもって来るであろうとイエスが言っていた、試練/困難かもしれない、迫害の一つでした。

弟子達の反応に気付きましょう。彼らは憤慨させられました。「先生、あなたは私達が死にかけているのに気に成らないのですか？」彼らは憤慨していました、なぜならイエスが眠っていて彼らの様に恐れていなかったのです、そして彼らは彼(イエス)が、心配して/心にかけていないと訴えました。

私達は選択を持っている

悪魔が私達から神の言葉を奪い取ろうとして困難や迫害を私達に対抗して持って来る時、私達は選択を持っています。私達は、私達が悪魔の陰謀に無知ではなく、そしてその時彼を叱りつけるように、私達に警告して下さった事を主に感謝する事が出来ます。私達は気分を害すことも出来ます、喜びを失くし

そしてそれによって悪魔が、私達から私達の心の内に蒔かれている神の言葉の黙示を奪い盗る事を許してしまいます。

試練や迫害が来た時、どれ程度々私達は泣き出してそして、神に文句を付けたことでしょうか？

◆ 「先生、あなたは私達が溺れてしまうのに気にならないのですか？」

◆ 「神様、あなたは私の子供達が墮落して行くのに気にならないのですか？」

◆ 「神様、あなたは私の人生に病が向かって来たのに気にならないのですか？」

◆ 「神様、私が支払いが出来ないのに気にならないのですか？」

私達は、私達自身が憤慨する事を許しそして私達の人生の嵐を神のせいにする時、私達は悪魔が貴重な神の言葉の種を私達から奪い盗る事を許しているのです。

信仰によって話す事

信仰によるプラス思考の行動は必要です、もし私達はその御言葉の種を私達の心に保とうとするなら、そして植えられた物の30倍、60倍、もしくは100倍の偉大な収穫を期待するのならば、です。

マルコ 4:40 イエスは彼らに言われた、「なぜ、そんなに怖がるのか。どうして信仰がないのか」。

権威をもって語る事

私達の船に向かって、人生の嵐が来る時憤慨する代わりに、私達はデビルに対抗して立ち上がり、大胆に信仰によって神の言葉を語らなければいけないのです。

マルコ 4:39 イエスは起き上がって風をしかり、海に向かって、「静まれ、黙れ」と言われると、風はやんで、大なぎになった。

用心していなさい

たとえ悪魔が敗北している敵であっても、彼は私達を私達の“神が与える”権威の中で歩む事から引き離しておくためには、何でもするでしょう。私達は用心して、私達の人生に対しての全ての攻撃に打ち勝つために警戒して準備していなければいけません。

1ペテロ 5:8 身を慎み、目を覚ましていなさい。あなた方の敵である悪魔が、吠えたける獅子のように、食いつくすべきものを求めて歩き回っている。

神の武具

信仰によって、私達は、神の武具を着けているべきなのです、そうすれば私達は、悪魔の策略に立ち向かう事が出来るのです。

エペソ人 6:10, 11 最後に行く。主にあって、その偉大な力によって、強くなりなさい。悪魔の策略に対抗して立ちうるために、神の武具で身を固めなさい。

私達がこれをする時、私達は嵐の真っ只中でデビルに立ち向かっている自分達を見出すでしょう。

エペソ人 6:13 それだから、悪しき日にあたって、よく抵抗し、完全に勝ち抜いて、固く立ちうるために、神の武具を身につけなさい。

私達の権威

イエスの働きは、完全でした！彼は既にデビルと彼のデーモン達を打ち負かしてしまいました。

地球上で、彼(主)は男と女を権威の中で歩むために創造しました。彼は私達の権威を回復しました、そして今、私達は起き上がって、そしてデビルが打ち負かされている敵だということを行動で見せなければ行けないのです。私達は、勢力的にこの地球上で神の国を促進しなければいけないのです。

復習のための質問

1. ヨハネ 10:10によると、悪魔は三つの主要な目的を以て私達の人生を攻撃するために来ます。これらの三つの目的を名指しなさい。

2. 農家のたとえ話によると、何が泥棒としての悪魔の最上優先ですか？

3. なぜ私達が権威をもって行動し、そして私達が困難や迫害に直面した時に、私達自身が怒ることを許さないということが重要なのでしょうか？

レッスン9 教会と権威

教会とは何か？

最初の陳述/言及

旧約を通して、礼拝は常に幕屋、宮殿、又は会堂の中心であった。私達が知っている現代のような教会はありませんでした。

イエスが最初に教会のことを話した時、彼は又、その他の機能の全てに優る、それ(教会)を特徴付けるための、三つの事を表しました。それは、イエスによって建てられるであろう。それは、地獄の門に打ち勝つところの、勝利の征服する軍隊であるだろう。それは、縛る(許可を与えない)そして解き放すための力を持っているだろう。

マタイ 16:13-18 イエスがピリポ・カイザリヤ地方に行かれた時、弟子たちに尋ねて言われた、「人々は人の子を誰と言っているか」。

彼らは言った、「ある人々はバプテスマのヨハネだと言っています。しかし、他の人たちは、エリヤだと言い、また、エレミヤあるいは預言者の一人だ、と言っている者もあります。」

そこでイエスは彼らに言われた、「それでは、あなた方は私を誰と言うか」。

シモン・ペテロが答えて言った、「あなたこそ、生ける神の子キリストです」。

すると、イエスは彼に向かって言われた、「バルヨナ・シモン、あなたは幸いである。あなたにこの事を表わしたのは、血肉ではなく、天にいます私の父である。

そこで、私もあなたに言う。あなたはペテロである。そして、私はこの岩の上に私の教会を建てよう。黄泉の力もそれに打ち勝つことはない。

土台の真理

ペテロは、神からの黙示によってイエスが、キリスト(救い主)、神の息子、だと知りました。これが、

教会がその上に建てられるべきである、真理であった。

イエスによって建てられた

教会の最初の特徴は、イエスが建てるであろうと、いう事です。それは、人々によってや、人々の伝統/伝説、もしくはプログラムによって建てられるものではありませんでした。

地獄の門に打ち勝つ

第二の特徴は、地獄の門がそれに打ち勝つ事は無いだろう、ということ事です。

アンプリファイド聖書で、(私達は)読みます、私は私の教会を建てよう、そして、黄泉の門(地獄界の力)はそれに打ち勝つ事も — 又は、その損傷になるほど強くなる事も、もしくは、それに粘り強く対抗することも無いであろう。

“縛るそして解き放す”ための鍵

その(イエスが建てられた)教会は、縛るそして解き放すための力を持っています。

マタイ 16:19 私は、あなたに天国の鍵を授けよう。そして、あなたが地上でつなぐことは、天でもつなぐがれ、あなたが地上で解くことは天でも解かれるであろう」。

ここに、私達がこの最初にイエスが話していた『教会』と云う物について学ぶ必要のある、三つの事があります。

◆ その教会は、イエスが救い主、生きている神の息子であるという御父からの黙示の上に、イエスによって建てられるであろう。

◆ 黄泉の門は、その教会に対抗し続ける事は出来ないであろう。

その教会は、天の御国の鍵と、そして『縛り解き放す力』を与えられるであろう。

返還された鍵

私達は、その『鍵』をこの地球上での権威と参照させる事を設定/確証しました。その鍵は、私達が見て来た、人であれ、家族、組織、市、州、もしくは国であれ、あらゆる存在の上の統治者達ちの門を閉める事も又開ける事も出来ます。

治めるための『鍵』

神が男と女を彼自身のイメージに創造した時、彼が人類に与えた権威の鍵がありました。

創世記 1:26 神はまた言われた、「我々のかたちに、我々にかたどって人を造り、これに海の魚と、空の鳥と、家畜と、地のすべての獣と、地のすべての這うものとなを治めさせよう」。

悪魔によって盗まれた

これらの鍵は、神によってこの地球上で良い事に使われる様に意図されていました。H然しながら、アダムとイブが罪を犯した時、彼らは盗み、殺し、そして滅ぼすために来ている悪魔にそれらの鍵を引き渡してしまいました。

権威の鍵が、悪魔の支配の下で、死と黄泉の鍵になってしまいました。

黙示録 1:18 また、生きている者である。私は死んだことはあるが、見よ、世々限りなく生きている者である。そして、死と黄泉との鍵を持っている。

イエスによって再獲得された

そこには、イエスが私達の罪を黄泉の深みに引き渡してしまった後、彼がデビルから取り上げたところの、権威の鍵(複数)がありました。イエスが黄泉の門を粉々に打ち砕いて勝利して通り抜けて来た時、彼はこれらの権威の鍵を悪魔から取り上げました。悪魔はもはや、この地球上での法的権威を何一つ持っていないのです。

人間に取り戻した

これらの鍵は、イエスの蘇りと御父のもとへの昇天の後に、彼が新しい創造物としての人類に、取り戻

して下さった、権威です。これらの鍵が、この地球上での最初の持ち主達に返還されたので、もはやそれらは、死と黄泉の鍵として間違った使い方をされることはありませんでした。むしろそれらは、天の王国の鍵として知られる様に成りました。

王国の鍵(複数)

マタイ 16:19 私は、あなたに天国の鍵を授けよう。そして、あなたが地上でつなぐことは、天でも繋がれ、あなたが地上で解くことは天でも解かれるであろう」。

これらの鍵を以って、私達は地球上に神の御心と神の王国を設立する事が出来ます。

これが、イエスが彼の弟子達に祈るようにと教えた、勝利です。

マタイ 6:9,10 だから、あなた方はこう祈りなさい、天にいます我らの父よ、御名があがめられますように。御国がきますように。御心が天に行われる通り、地にも行われますように。

キリストの肢体として私達が、主の御心のままに、神が与えた私達の権威の鍵を使う時、私達は、この地球上に天の王国を設立しているのです。

地獄の門

攻撃を受けている教会

イエスが最初に、教会、という言葉の話に出された時、彼は直に地獄の門はそれに打ち勝つ事はないであろう、という事を述べました。

マタイ 16:18 b ... (日本語:18 c)黄泉の力(門)もそれに打ち勝つことはない。

イエスが、黄泉の門はその教会に打ち勝つことはないであろう、と言った時、彼

が何を意味したのかを理解することは、重要です。

私達の時代では、私達は門をフェンスや、壁/扉を開ける物の様に考えます。その私達の思いの中の映像

では、この節の本当の理解の何一つをも得ることは、難しいのです。私達のほとんどが、門に攻撃された事が無いのです。

門とは何か？

聖書の時代では、市の政府と仕事は、その門で行われました。それ故に、その門が、壁/塀で囲まれている市に安全を備えている間に、又、市や国民の政府に関する問い合わせ/委託にも成りました。ソロモン王は彼の箴言の一つの中で、この事を参照/照会しました。

箴言 31:23 その夫はその地の長老たちと共に、町の門に座するので、人に知られている。

門を所有する事

神がアブラハムを祝福した時、彼(神)は彼(アブラハム)の敵軍の門を取り込む事を引き合いに出しました。それが、祝福でした。

創世記 22:17 私は大いにあなたを祝福し、大いにあなたの子孫を増やして、天の星のように、浜辺の砂のようになる。あなたの子孫は敵の門を打ち取り、...

リベカの上に祝福が置かれた時も又、敵軍の門を取り込む(所有する)事が参照されていました。

創世記 24:60 彼らはリベカを祝福して彼女に言った、「妹よ、あなたは、千万の人の母となれ。あなたの子孫はその敵の門を討ち取れ」。

敵の門を所有するという事は、その政府を取って代わり、支配する事を意味しています。今日私達は、霊の領域の中での私達の敵軍の門を所有すべきなのです。権威と主権によって、侵略的な激しい霊的戦闘により門は、勢力によって奪い取られます。

ソロモン王は、この事を語りました。

箴言 14:19 悪人は善人の前にひれ伏し、悪しき者は正しい者の門にひれ伏す。

多くの者達は、不安な恐れにある門の内側で畏縮している間中、デビルに攻撃されている彼ら自身を描いていました。然しながら、攻撃側に居るべきなのは、教会(クリスチャン達)であって、悪魔ではないのです。

私達、教会が地獄の門を襲撃し、そして世界中に神の王国を勢力的に促進しているべきなのです。

王国への鍵

イエスが最初に“教会”という事。話に出された時、彼は言いました、「私はあなた方に鍵をあたえましょう。」それは将来に起きるためでした。後に、彼の死と蘇りの後、彼は御父に言いました、「私が鍵を取りました!」

その鍵は人の、‘返還された権威’を代表/象徴します。イエスが、悪魔から力と権威の武装解除した時に取り上げたのが、これらの鍵です。

私達が保持しているこの鍵で入る所の天の王国とは何ですか？

イエス、(全ての)王の中の王が、御父と、共に全宇宙の上に君臨します。彼の王国は設立されるべきであり、それはこの惑星地球の上です。

贖われた男女達が彼らの返還された霊的権威の鍵を使う時に、世界中を通して神の国は勢力的に促進されるであろう。

これらは、私達が縛りそして解き放す為に使うだろう、とイエスが言った鍵です。私達は、悪魔と彼のデーモン達を縛る為の権威を持っています、そして私達は捕虜達を解き放す為の権威の鍵を持っているのです！私達が霊の領域での戦いに勝利する時、それは自然界にも、もしくは、肉体的領域にも表れるでしょう。

縛るそして解き放す事に付いての原則/原理

イエスは、彼が、私達に天の王国の鍵を与えるだろうと、そして全て私達が地上で縛るものは、天でも縛られるであろう、また全て私達が地上で解き放すものは、天でも解き放されるだろうと言いました。

それはどういう意味でしょうか？

イエスは強き人を縛った

イエスは、強き人を縛る事に付いて話しました。

マタイ 12:28, 29 しかし、私が神の霊によって悪霊を追い出しているのなら、神の国はすでにあなた方のところに来たのである。また誰でも、まず強い人を縛り上げなければ、どうして、その人の家に押し入って家財を奪い取ることが出来ようか。縛ってから、初めてその家を掠奪することができる。

強き人とは誰でしょうか？

強き人とは、政府、組織、又は、人の人生の上に指定されている悪魔かもしくは、その支配/統治しているディーモンです。

イエスはその強き人の家に入ってその強き人を縛りました - 悪魔と彼の支配しているディーモン達。

私達は、権威をもって「悪魔よ、私はイエスの御名でお前を縛る!」と言うことによって、悪魔とその手下/部下であるディーモン達を縛ります。

☒

次に私達は、強き人(状態、状況、人の人生を支配している所の悪霊)を縛るべきです、「不潔な/悪臭のする/汚れたディーモンの霊、私はお前をイエスの御名で縛る!」と大胆にそのディーモンに言うことによってです。

縛る事とは何でしょうか？

縛るという事は、神が私達を霊的戦闘に導かれているその特定の状況の上を支配する悪魔か、彼が支配しているディーモンを制限する(許可しない)という意味です。

一つの例として、私達が一匹の犬を杭に結びつけられている鎖で繋ぐ時に、その犬は限られた距離迄しか行く事が出来ません。彼は、私達が彼を縛っている所から鎖の長さを超えた領域に手を伸ばす事から制限されています。私達は、彼の影響力の領域を制限したのです。これが、縛るという言葉の意味です。

。

彼の家を略奪する

次に、私達は彼の家を略奪すべきなのです。私達は、これを強き人の権威のもとで、デーモンに命じる事によってするのです。

☒ 「イエスの御名によって、出ていけ！」

私達は、“霊を見分ける/識別する”、そして、“知識の言葉”、の霊の賜物が(私達を通して)働いている中で、これらの霊の正体を知ることが出来るのです。私達は、又、彼らの明白な機能によって、彼らの正体を知ることが出来るのです。これらの幾つかは：

- ◆ オカルトの霊、
- ◆ 妨げる/邪魔する霊、
- ◆ 汚れた霊 - 肉欲、邪悪/捻くれた霊、
- ◆ 治病/病弱の霊、
- ◆ 拷問の霊、
- ◆ 自殺の霊

霊を追い出す！

これらの霊を追い出す事によって、私達は強き人の家を略奪して行っているのです。彼の家が略奪される時、彼は為す術の無い者に成るのですそして私達は、イエスの御名で彼に去ることを命令することが出来るのです。

ルカ 11:21, 22 強い人が十分に武装して自分の邸宅を守っている限り、その持ち物は安全である。しかし、もっと強い者が襲ってきて彼に打ち勝てば、その頼みにしていた武具を奪って、その分捕品をわけるのである。

イエスは既に力も権威も取り除き、そして彼らを公共の見世物にしました。彼は彼らの全ての遥か上に挙げられ、そして御父の右手側に座しておられます。これは、天国で完了されている事実です。

信者達の権威

信じる者達として、私達は私達の権威と主権を地上で実際に使わなければいけないのです。私達は地上で、残りの全ての宇宙で既に完了されている事を今

成し遂げそして実地しなければ行けないのです。天国で事実完了されている事をです。地球上で、私達は悪魔とそして、彼の支配しているデーモン達を縛り、そして囚われ人を解き放さなければいけないのです。私達は、彼の影響力の領域を制限しなければならないのです。

マタイ 16:19b 「そして、あなた方が地上でつなぐことは、天でもつなぐれ、あなた方が地上で解くことは天でも解かれるであろう」。

私達がこれをしていく時に、私達も又、力と権威を武装解除し彼らを公共の見世物にし、十字架によって彼らに圧倒的勝利するべきなのです。

悪魔のポジション

無効のものにされた

イエスは彼の死と蘇りをもって、悪魔を無効のものにした。

ヘブル人 2:14 (アンプリファイド聖書) それ故に、[これらの彼/主の]子供たちが血と肉とを共に分け合っているのだから — それは、人間の肉体的自然/性質 — 彼/イエスもまた[彼自身]同じような方法で、同じ[性質]を共有した、それは死[を通る事]によって彼/イエスが、死の力を持っていた、そのデビル/悪魔を、無価値で、何の影響も及ぼさない者とするためであった。

もはや私達の捕える者ではない

私達は死の恐れと束縛から自由な者とされているのです。

ヘブル人 2:15 ... 死の恐怖のために一生涯、奴隷となっていた者たちを、解き放つためである。

イエスの死と勝利の蘇りの中にある彼の業の完了によって、もはや男性も女性も死の恐怖に捕われたままで居る必要はないのです。私達がこの心理を発見する時、私達は自由な者にされ、そして完全に束縛と、デビルに対する恐れから解放されます。

仕業は破壊されている

なぜ神の息子は現れたのでしょうか？

☐ 悪魔の仕業を滅ぼすためです！

☐ 彼らを公共の見世物 にするためです！

第1ヨハネ 3:8 罪を犯す者は、悪魔から出たものである。悪魔は初めから罪を犯しているからである。神の子が現れたのは、悪魔の業を滅ぼしてしまうためである。

コロサイ人 2:15 そして、諸々の支配と権威との武装を解除し、キリストにあって凱旋し、彼らをその行列に加えて、さらしものとされたのである。

眠っている教会が目覚めて行きます！

イエスがこの地球上にデビル/悪魔の業を滅ぼすために来た時、彼は神としての彼の権威を横に置きまゝした。地上での最後のアダムとして、彼は歩み、そして権威と主権をもって奉仕しました。

悪魔は、イエスによって、完全に打ち負かされました。彼は無価値なものとされ、無効力にされました。イエスは、デビル/悪魔を一つの大きな“ゼロ(無)”としました。

現在この権威と主権が、信仰を通して、今や彼の教会であり、そして彼の地上での身体である所の、贖われている人類に対して回復されたその鍵なのです。

敗北した敵として、唯一悪魔がこの地球上で出来る事は、私達が私達の知らない間に、彼にさせてしまっている事だけなのです。この神の言葉から来る黙示/啓示と共に、私達は立ち上がり、そして悪魔彼の支配するデーモン達を縛る事が出来るのです。私達が、強き人を縛りそして彼の家を強奪する時、私達が、デーモンの霊達にイエスの御名で、立ち去る事を命令する時、私達は悪魔の要塞を取り壊す事が出来るのです。

2 コリント人 10:4 私達の戦いの武器は、肉のものではなく、神のためには要塞をも破壊するほどの力あるものである。…

レッスン10

御国(=神の王国)への鍵(*この“鍵”は複数形です)

イエスが鍵を持っている

あなたは、イエスが天国に戻って来た時彼が叫んだ、勝利を得た言葉を覚えていますか？

黙示録 1:18 また、生きている者である。私は死んだことはあるが、見よ、世々限りなく生きている者である。そして、死と黄泉との鍵を持っている。

イエスは、悪魔から地獄と死の鍵を取り上げました。一単イエスが、私達の罪を黄泉の深みに送ってしまったので、彼がそこで捕われたままで居る事は、もはや可能ではありませんでした。

使徒行伝 2:24 ... 神はこのイエスを死の苦しみから解き放って、蘇らせたのである。イエスが死に支配されているはずなかったからである。

イエスは死を打ち負かした！

イエスは、権威、主権、そして王位を人間に回復しました。彼は私達に、悪魔が盗んだ全てのものを回復して下さいました。

私達は、神が私達に、悪魔に対しての総合的主権とそして権威の中で生きて欲しいと望んでおられるという事を知っています、なぜなら彼は、私達がこの地球上で、成るべき物そしてすべき事の全てを回復するために、彼自身の息子を犠牲に捧げて下さったからです。

イエスがこの地球上で行った全ての事、彼の人生、彼の死、そして彼の復活は、それによって私達が、もう一度回復されるためだったのです。私達が権威の中を歩み、そして悪魔、彼のディーモン達、そしてこの地球上の全ての上で勝利している者と成る事が出来る様に、彼がそれをその様にして下さったのです。

イエスの血—勝利のための勝ち越しの鍵

神がアダムを創造した時、彼はアダムに彼自身の命を吹き込みました。この命はアダムの身体一つの孤立した一部分に限られていません。神は彼の命をアダムの血の中に注入しました。それはアダムの身体のあらゆる部分に継続的に注ぎこまれていました。

モーゼは、創造物の命は血の中にあるということ事を書きました。

レビ記 17:11a 肉の命は血にあるからである。...

アダムの罪—死

罪を通して、アダムは彼の血の中に有った神の命を失いました。この命は、神の贖いの計画を通してのみ人間に回復される事が出来たのです。人が神のイメージに回復されるためには、彼はもう一度、彼の血の中に神の命を持たなければいけないのです。

神の贖いの計画の中に於いて、彼の息子イエスが、彼自身の血を流して下さる事だったのです。

ヘブル人 9:22 こうして、ほとんど全ての物が、律法に従い、血によってきよめられたのである。血を流すことなしには、罪の赦しはありえない。

死であったところの、罪の罰則は、罪によって彼の血の中の神の命を失ってはいない人の、完璧な身代わりによって支払わなければ行けなかったのです。

聖霊によってやどり、そして処女から生まれた、イエスは、アダムの血を受け継いではいませんでした。彼は彼自身の無実の血を流すことによって、自ら望んで彼の命を差し出した、完璧な身代わりと成りました。

イエスの血を通して 私達が所持する

◆ 罪の赦し

私達の贖いは、イエスの血の中に有ります。

エペソ人 1:7 私達は、御子にあって、神の豊かな恵みの故に、その血による贖い、すなわち、罪過の赦しを受けたのである。 ...

1 ペテロ 1:18, 19 ... あなた方がよく知っている通り、あなた方が先祖伝来の空疎な生活から贖い出されたのは、銀や金のような朽ちる物によったのではなく、傷も、シミもない、子羊のようなキリストの尊い血によったのである。

◆ 義にされる/正当化される事

◆ 救い

イエスの血によって、私達は罪の無い正しい者とされ、そして私達の命に神の義が回復されました。

ローマ人 5:8, 9 しかし、まだ罪人であった時、私達のためにキリストが死んで下さったことによって、神はわたしたちに対する愛をしめされたのである。私達は、キリストの血によって今は義とされているのだから、なおさら、彼によって神の怒りから救われるであろう。

私達はイエスが私達の身代わりに成って、彼の血を十字架上で流して下さる事によって私達の死の罰則をその身に受けて下さった時、神の完璧な義は満たされて、そして私達は、神の怒りから救われました。

神の命がその中にある、そのイエスの血の注ぎを共に与る事によってのみ、私達は再び私達の中に神の命を持つことが出来るのです。

ヨハネ 6:53 イエスは彼らに言われた、「よくよく言うておく。人の子の肉を食べず、また、その血を飲まなければ、あなた方の内に命はない。

◆ 交わり

イエスの血が、私達の人生の上の、全ての罪の影響を取り除くでしょう、そうすれば再び、神の命が回復される事が出来るのです。

1 ヨハネ 1:7 しかし、神が光の中にいますように、私達も光の中を歩くならば、私達は互いに交わりをもち、そして、御子イエスの血が、すべての罪から私達を清めるのである。

◆ 贖い

私達の贖いと私達の全ての赦しは、彼の血を通してです。

コロサイ人 1:13, 14 神は、私達を闇の力から救い出して、その愛する御子の支配下に移して下さい。私達は、この御子によって贖い、すなわち、罪の赦しを受けているのである。

イエスの血の注ぎを通して、贖いの犠牲と神の救いの賜物を受け取る事無しで、人が赦されて回復されるための道は有り得ないのです。

ヘブル人 9:22 こうして、ほとんどすべての物が、律法に従い、血によってきよめられたのである。血を流すことなしには、罪の赦しはあり得ない。

ヘブル人 9:12 かつ、やぎと子牛との血によらず、ご自分の血によって、一度だけ聖所に入れ、それによって永遠の贖いを全うされたのである。

◆ 汚点無し

◆ 仕える事が出来る

イエスの血を通して、私達が神に仕える事が出来るように、私達は清められています。

ヘブル人 9:14 永遠の聖霊によって、ご自身を傷なき者として神に捧げられたキリストの血は、なおさら、私達の良心を清めて死んだ業を取り除き、生ける神に使える者としないうでであろうか。

◆ 確信を持っている

アダムが罪を犯す前は、神の臨在の中で、日々の交わりの中を歩んだ様に、十字架の血によって全くそのとおりに、人が、全ての有罪と非難から除去されてもう一度、堂々と神の臨在の中に歩いて行く事が出来るのです。

ヘブル人 10:19 兄弟たちよ。こういうわけで、私達はイエスの血によって、はばかりことなく聖所に入ることができ、...

◆ 平安を得ている

平安と和解は、彼(主)の血を通して可能にされました。

コロサイ人 1:19, 20 神は、御旨によって、御子のうちにすべての満ち満ちた徳を宿らせ、そして、その十字架の血によって平和をつくり、万物、すなわち、地にあるもの、天にあるものを、ことごとく、彼によってご自分と和解させて下さったのである。

◆ 元々のポジションに回復された

新生を通して神の命に贖われそして回復された人類として悪魔に打ち勝ったのは、イエスの血でした。

悪魔は盗み、殺し、そしてこの地球上で、神が、彼の全く似ているイメージ/似姿に創造した人を滅ぼす為に来ました。罪を通して、人は神の命を失いました。人は、自身の命に向かって来る悪魔の攻撃の中で為す術もないままでした。神御自身の息子の血を流すことを通しての神の贖いの計画によって、人は完全に彼の、元々の創造された時のポジションと、神との関係に回復される事が出来るのです。イエスのその血によって、人が、一度は絶望の敗北の中に居た者が、もう一度圧勝的に打ち勝つ人に成る事が出来たのです。

◆ 守りの覆い

正に旧約の祭司が、人々の罪のための覆い、又は償いに成る為に、犠牲の子羊の血を取って、神の哀れみの座の上にそれを振りかけた様に、全くその様に今日も、信仰によって、(神の)子羊の血が、贖われた人類のための、守りの覆いに成るのです。

◆ 勝利

イエスの血を通して、私達は勝利を得ている！

私達が赦しの中を歩む時に、神に忠実にそして信仰によって、私達は大胆に言う事が出来ます：

◆ 「悪魔よ、私はイエスの血で覆われている！」

◆ 「私の家族と所有物は、イエスの血で覆われている!」

◆ 「悪魔よ、お前はイエスの血によって既に打ち負かされている!」

◆ 「なぜならイエスの血によって、お前は私に触れることは出来ない!」

正にイエスが彼の血によって、悪魔に打ち勝った様に、私達も又イエスの血によって打ち勝つ事が出来るのです!彼の血による守りによって、私達に逆らい立ち向かう為に作られている武器は、何一つその目的を達成する事は出来ないのです。

黙示録 12:11a 兄弟たちは、子羊の血と彼らの証の言葉とによって、彼に打ち勝ち、

悪魔はイエスの血によって打ち負かされました。

イエスの血にある権威の鍵は、その血を通して贖われた私達一人一人に、与えられています。彼の血の力に満ちた鍵を持って、私達は征服者ですそして、悪魔は継続して私達の人生の中で打ち負かされ続けるでしょう。

神の言葉 - 勝利のための征服の鍵

御霊の剣

エペソには、私達の戦いの勝利のための武器は、”御霊の剣、すなわち神の言葉である”(6:17)と述べられています。神の言葉が私達の口から話された時、悪魔が全く防御し得ない、権力的に対抗する武器に成ります。私達が権威を持って神の言葉を話す/語る時に、私達は私達の人生において悪魔に打ち勝つでしょう。

黙示録 12:11a 兄弟たちは、子羊の血と彼らの証の言葉とによって、彼に打ち勝ち、

証の言葉

その“彼らの証の言葉”というのは、同じように明確に、“彼らの証の内にある言葉”と訳されてもかまわないでしょう。私達の証とは、私達が話す事です。私達が問題や、私達の考えや、もしくは私達の

恐れ等を話す事を止めて、そして大胆に神の言葉が私達の状況に付いて何と言っているかを話す時、その時私達も又、打ち勝つ者達に成るでしょう。

言葉は勝利をもたらす

神の言葉が私達の口から継続的に出て来る様にさせるためには、私達はその言葉に付いて読み、勉強し、そして黙想する(何度も口ずさむように繰り返し言う)事が必要なのです。それから、それが私達の人生の内に、深く植え付けられた信仰に繋がって行くものに成るでしょう。

1 ヨハネ 2:13, 14 父たちよ。あなた方に書き送るのは、あなた方が、初めからいます方を知ったからである。若者たちよ。あなた方に書き送るのは、あなた方が、悪しきものに打ち勝ったからである。子供たちよ。あなた方に書き送ったのは、あなた方が父を知ったからである。

父たちよ。あなた方に書き送ったのは、あなた方が初めからいます方を知ったからである。

若者たちよ。あなた方に書き送ったのは、あなた方が強い者であり、神の言葉があなた方に宿り、そして、あなた方が悪しき者に打ち勝ったからである。

これらの青年達は、強い打ち勝つ者達に成るように言われました、なぜなら彼らは、彼らの内に留まっている神の言葉を持っていたからなのです。彼らは大胆にその言葉を彼らの神が与えているところの権威と主権によって、彼らの口から出す時に、彼らはその悪である者に打ち勝ちました。

エペソ人 6:17 また、救いのかぶとをかぶり、御霊の剣、すなわち、神の言葉をとりなさい。

御霊の剣とは、神の言葉です。

黙示録 19:13-16 彼は血染めの衣をまとい、その名は「神の言葉」と呼ばれた。そして、天の軍政が、純白で、汚れのない麻布の衣を着て、白い馬に乗り、彼に従った。

その口からは、諸国民を打つために、鋭い剣が出ていた。彼は、鉄の杖を持って諸国民を収め、また、全能者なる神の激しい怒りの酒船を踏む。その着物

にも、そのもにも、「王の王、主の主」という名がしるされていた。

王の中の王そして主の中の主。

御言葉を口から出す/話す

イエスは、最も偉大な信仰の手本/見本は、権威を理解しそして、言葉を話す事によって、それをどう適応するのかを知っている人だと言いました。

マタイ 8:8-10 そこで百卒長は答えて言った、「主よ、私の屋根の下にあなたをお入れする資格は、私にはございません。ただ、お言葉を下さい。そうすれば僕は治ります。私も権威の下にある者ですが、私の下にも兵卒がいます、一人の者に『行け』と言えれば行き、他の者に『来い』と言えれば、来ますし、また、僕に『これをせよ』と言えればしてくれるのです。

イエスはこれを聞いて非常に感心され、ついてきた人々に言われた、「よく聞きなさい。イスラエルの人の中にも、これほどの信仰を見たことがない。

確認されるべき言葉

神の言葉は印と不思議によって確認されるでしょう。

マルコ 16:19-20 主イエスは彼らに語り終わってから、天にあげられ、神の右にすわられた。

弟子たちは出て行って、至る所で福音を宣べつた。主も彼らと共に働き、御言葉に伴うしるしをもって、その確かなことをお示しになった。

イエスは御言葉である

イエスの名前そのものが、神の言葉です。

黙示録 19:13 彼は血染めの衣をまとい、その名は「神の言葉」と呼ばれた。

ヨハネ 1:1 初めに言葉があった。言葉は神と共にあった。言葉は神であった。

虚しく戻ることが出来ない御言葉

神はイザヤを通して、彼の言葉の力について話されました。

イザヤ 55:11 このように、我が口から出る言葉も、むなしく私にかえらない。わたしの喜ぶところのことをなし、私が命じ送った事をはたす。

神はダビデ(王)を通して、彼の言葉の癒やしの力について話しました。

詩篇 107:20 その御言葉をつかわして、彼らを癒やし、彼らを滅びから助け出された。

私達が権威をもって話す御言葉は、神を喜ばせる事を達成するのに効果的です。神の言葉は私達に、それが繁栄することを約束しています！

御言葉は創造する

御言葉は創造する力を持っています。

ヘブル人 11:3 信仰によって、私達は、この世界が神の言葉で造られたのであり、したがって、見えるものは現れているものから出てきたのではない事を、悟るのである。

御言葉は権威を持っている

イエスは権威をもって、御言葉を話した。

ルカ 4:36 みんなの者は驚いて、互いに語り合って言った、「これは、いったい、何という言葉だろう。権威と力をもって汚れた霊に命じられると、彼らは出て行くのだ」。

御言葉を入れて一御言葉を出す！(一日中ずっと呼吸する様に)

御言葉を知る事は良い事です、しかし私達が、私達の状況と私達の口から話(出)された神の言葉をもって向き合う迄、私達は勝利を得ることは出来ないでしょう！

イエスは権威と力をもって御言葉を話した(声に出して言った)。

神の種類(The God-kind)の信仰：

☐ 御言葉を信じる、

☐ 御言葉を話す/語る、

☐ 御言葉が奇跡を成し遂げるのを見る。

御言葉の鍵は、私達が継続して権威と主権をもって話し(語り)続けて行く時に、負ける(仕損じる、不足する、役に立たないで終わる)事が出来ないのです。

私達が地球上で、そのために創造されているところの、主権の中で作動する/動くために、イエスが私達、彼の教会に、権威の鍵を勝利的霊の戦闘のために与えて下さっているのです。私達がこれらの鍵と、それらを如何に効果的に使うかを見い出して行くに連れて、私達は、人生の苦闘葛藤に勝利している中で生きている自分自身を見つけるでしょう。私達は、イエスが既に私達が成るべきために、宣言/断言して下さいました自分自身を見つけるでしょう：

私達は征服者以上であり、

私達は彼(主)の名によって打ち勝った者達である。

復習のための質問

1. なぜイエスの血が、デビルやディーモンの霊達の攻撃に打ち勝つ事にそれ程迄効果的なのか、説明しなさい。
2. どのように神の言葉を話す事が自分自身の人生の中で勝利を与えたのか、例を上げなさい。
3. あなたの霊の戦いの中での武器として使う為に、どの聖書の箇所(に書かれてある言葉)をあなたは暗記するつもりですか(しようとしていますか)?

レッスン11 イエスの御名

イエスの御名ー勝利のための征服の鍵

私達がイエスの御名を使う時、私達はイエスの権威と共に語っているのです。私達はその名前によって語る時、あたかもイエスがそこに立っていて、その状況に向かって語っているのと同じ効果を持っているのです。彼(主)が私達に彼の名前を使う権利を与えて下さっているのです。

印は御名にある信心の後に付いて来る

印はイエスの名前を信じるそれらの者達に従って来ます。

マルコ 16:15-18 そして彼らに言われた、「全世界に出て行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えよ。信じてバプテスマを受ける者は救われる。しかし、不信仰の者は罪に定められる。

信じる者には、このようなしるしが伴う。すなわち、彼らは私の名で悪霊を追い出し、新しい言葉を語り、蛇をつかむであろう。また、毒を飲んでも、決して害を受けない。病人に手を置けば、癒される」

。

新約が最初に書かれた言語である、ギリシャ語には、句読点がありませんでした。私達の聖書の中にある句読点は、翻訳者達が彼ら自身の判断によって付け足されたものです。

マルコ 16:17 を読むと、

そしてそれらの信じる者達には、これらの印が伴うであろう ...

この一節は正に明確に訳されることが可能なのではないのでしょうか、

そしてそれらの、私の名によって信じる者達には、これらの印が伴うであろう ...

イエスは言いました、私達が彼の名前(の中に含まれる全て)を信じることは重要であると。私達はイエスの御名によって私達のものである、その権威を

理解しなければいけないのです。私達がイエスの御名を使う時、信仰によって私達は、その権威を大胆に放たなければいけないのです。

私達がイエスの御名によって、私達の信心(信じていること)を大胆に語り行動に移す時、私達はデーモンを追い出すでしょう。私達が病気の人達に私達の手を置けば、彼らは治るでしょう。

畏敬すべき権利

十字架上で完了されたイエスの御業の前は、誰一人として神の御名を口から出すことでさえしようとはしませんでした。それらは声に出して口から出されるには、あまりにも聖別されていて清すぎると考えられました。それらは最も聖別されている場所の内側に彫り込まれていて、そして最上級の祭司のみに知られていました。

イエスが、信じる者達に彼の名を使う権利を与えた時、それは畏敬すべき特権でした、そして又決して軽く受け取るべきでは有りません。

イエスの権威を放す

なぜならイエスは神の御息子だったので、 //

☐ 彼は天国での全ての権威を持っていました。

なぜならイエスは人の御息子だったので、

☐ 彼は地球上での全ての権威を持っていました。
。

マタイ 28:18 イエスは彼らに近づいてきて言われた、「私は、天においても地においても、一切の権威を授けられた。

私達が彼の御名を使う時、畏れ多い(圧倒的)権威と力が放たれるのです。それはまるで私達が、彼の立場に立っていて、そして彼の権威を使っているかのようなのです。

委任権(法律上での)

イエスが私達に彼の名前を使う法的権利を与えて下さった時、彼は私達の管理に、彼の最上級の信頼を

置いて下さいました。法的用語では、彼は私達に彼の名を使う委任権を与えて下さったのです。

私達の裁判上のシステムでの委任権とは、その人に他の人の名前を使う権利と特権を与える、法的書類です。その様に委託された人が、契約書に本人の代わりにサインをして、その契約書に委任権のコピーを添付する時、それはその人がそこに居て、その契約書にサインをしたかのように、同じ法的拘束の効果が有ります。

神から(の声を霊で)聞くこと

イエスがこの地球上で奉仕をしている時、彼は彼の御父の代わりに行動していました。

ヨハネ 5:19 さて、イエスは彼らに答えて言われた、「よくよくあなた方に言うておく。子は父のなさることを見てする以外に、自分からは何事もすることができない。父のなさることであればすべて、子もそのとおりにするのである。

さて、私達が地球上で奉仕して行く上では、私達は御息子の代わりに行動するべきなのです。私達は先ず始めに神様に耳を傾けて聞いて、そして神様からの声(霊に語って下さる言葉)を聞く為の時間を取る事無しに、私達自身の願望を成し遂げる為にイエスの御名を使ってはいけません。

無意味に御名を使う事

最初に、神の御心(意思)を見極める事無しに、イエスの御名を私達自身の願望を達成する為に使う事を試みる事は、彼の御名を無意味に使う事に成るでしょう。

申命記 5:11 あなたの神、主の名をみだりに唱えてはならない。主はその名をみだりに唱えるものを罰しないではおかないであろう。

全ての名に優る(上にある)名

イエスの御名は、全ての名に優り(の上に有ります)ます。

ピリピ人 2:5-11 キリスト・イエスにあって抱いているのと同じ思いを、あなた方の間でも互いに生か

しなさい。キリストは、神のかたちであられたが、神と等しくあることを固守すべき事とは思わず、かえって、おのれをむなしうして僕のかたちを取り、人間の姿になられた。

その有様は人とは異ならず、おのれを低くして、死に至るまで、しかも十字架の死に至るまで従順であられた。

それ故に神は彼を高く引き上げ、すべての名にまさる名を彼に賜った。それは、イエスの御名によって、天上のもの、地上のもの、地下のものなど、あらゆるものが膝をかがめ、またあらゆる舌が、「イエス・キリストは主である」と告白して、栄光を父なる神に帰するためである。

- ◆ 全てのディーモンパワーには、名前が有る。
。
- ◆ 全ての人には、名前が有る。
- ◆ 全ての病気や病弊/病毒には、名前が有る。
- ◆ 全てのデビル/悪魔の陰謀には、名前が有る。
。
- ◆ イエスの名前が口から出される時、ディーモン パワーは、逃げ去る。
- ◆ イエスの名前が口から出される時、癌や他の全ての病毒は屈服(頭を下げる)しなければならない。
- ◆ イエスの名前が口から出される時、悪魔の陰謀は打ち負かされる。

イエスの名前は、他の全ての名前の上に在る名前です。彼の名前が信仰の内に口から出される時、全ての膝はイエスの主で在る主権/支配に対して服従してかがみます。

ディーモン達は御名に従う

ディーモン達は、イエスの名前の力を知っています、そして彼らはその御名に服従するのです。

ルカ 10:17, 19 七十二人が喜んで帰ってきて言った、「主よ、あなたの名によっていたしますと、悪霊までが私達に服従します」。

私はあなた方に、蛇やさそりを踏みつけ、敵のあらゆる力に打ち勝つ権威を授けた。だから、あなた方に害をおよぼす者は全く無いであろう。

マタイ 28:18 イエスは彼らに近づいてきて言われた、「私は、天においても地においても、一切の権威を授けられた。

全ての権威は、イエスに与えられています。イエスの御名を用いる事によって、私達はその同じ権威を地球上で持つのです。

名前の内に有るもの全てを信じる

私達はイエスの御名にある全てを信じる様に命じられています。

1 ヨハネ 3:23 その戒めというのは、神の子イエス・キリストの御名を信じ、私達に命じられたように、互いに愛し合うべきことである。

私達は永遠の命の為にイエスの御名の内にある全てを信じるべきなのです。

ヨハネ 3:18 彼を信じる者は、裁かれない。信じない者は、すでに裁かれている。神の一人子(息子)の名を信じることをしないからである。

ヨハネ 20:31 しかし、これらのことを書いたのは、あなた方がイエスは神の子(息子)キリストであると信じるためであり、また、そう信じて、イエスの名によって命を得るためである。

私達は彼の名前にある全てを信じているので、私達は私達の救いの全保証/確信を持つことが出来るのです。

1 ヨハネ 5:13 これらのことをあなた方に書き送ったのは、神の子の神名を信じるあなた方に、永遠の命をもっていることを、悟らせるためである。

彼の御名によって求める/尋ねる

私達はイエスの御名によって求める事を教授/指示されています。

ヨハネ 14:12-14 よくよくあなた方に言うておく。私を信じるものは、また私のしている業をするであろう。私が父の身元に行くからである。私の名によって願うことは、何でもかなえてあげよう。父が子によって栄光をお受けになるためである。何事でも私の名によって願うならば、私はそれをかなえてあげよう。

イエスが御父の元に行くために去って行く時、彼は御自分の従って来る者達に彼の名前を用いる様に指令しました。彼は、彼らが求めるだろう事を、彼がするであろうと、そうする事によって御父が、御息子にあって栄光をお受けになるであろうと、彼らに言われました。

ヨハネ 15:16 あなた方が私を選んだのではない。私があなた方を選んだのである。そして、あなた方を立てた。それは、あなた方が行って実をむすび、その実がいつまでも残るためであり、また、あなた方が私の名によって父に求めるものはなんでも、父が与えて下さるためである。

ヨハネ 16:23, 24 その日には、あなた方が私に問うことは、何もないであろう。今までは、あなた方は私の名によって求めたことはなかった。求めなさい、そうすれば、与えられるであろう。そして、あなた方の喜びが満ち溢れるであろう。

私達は、イエスの御名によって求める様に指令されています。

全ての事を彼の御名によって行う

私達は全ての事をイエスの御名によってするべきなのです。これは、なんと素晴らしい特権なのでしょう！

コロサイ人 3:17 そして、あなたのすることは全て、言葉によると業によるとを問わず、一切主イエスの名によってなし、彼によって父なる神に感謝しなさい。

私達は又、私達ができる全ての事がイエスの御名によってするに相当な(似合っている)事であるべきだという事を熟考するべきなのです。これをする事は、私達の生き方の革命/大変革を起こす事になるかもしれないのです。

使徒達はイエスの御名を用いました。

使徒行伝の中の、使徒達と初期の信者達は大胆にイエスの御名を用い、奇跡的な結果が伴いました。

彼の名前にある力

使徒行伝 3:1-10 さて、ペテロとヨハネとが、午後三時の祈りのときに宮に上がろうとしていると、

生まれながら足のきかない男が、抱えられてきた。この男は、宮もうでに来る人々に施しをこうため、毎日、「美しの門」と呼ばれる宮の門のところに、置かれていた者である。彼は、ペテロとヨハネとが、宮に入って行こうとしているのを見て、施しをこうた。

ペテロとヨハネとは彼をじっと見て、「私達を見なさい」と言った。彼はなにかもらえるのだろうかを期待して、二人に注目していると、

ペテロが言った、「金銀は私には無い。しかし、私にあるものをあげよう。ナザレ人イエス・キリストの名によって歩きなさい」。

こう言って彼の右手を取って起こしてやると、足と、くるぶしとが、立ちどころに強くなって、

踊り上がって立ち、歩き出した。そして、歩き回ったり踊ったりして神を賛美しながら、彼らと共に宮に入って行った。民衆はみな、彼が歩き回り、また神を賛美しているのを見、これが宮の「美しの門」のそばに座って、施しを乞うていた者であると知り、彼の身に起こったことについて、驚き怪しんだ。

彼の名前にある信仰

ペテロは、イエスの御名を用いる事の鍵とは、その名前の権威を信仰によって放つ事であると説明しました。

使徒行伝 3:12 ペテロはこれを見て、人々に向かって言った、「イスラエルの人たちよ、なぜこの事を不思議に思うのか。また、私達が自分の力や信心で、あの人を歩かせたかのように、なぜ私達を見つめているのか。

使徒行伝 3:16 そして、イエスの名が、それを信じる信仰の故に、あなた方の今見て知っているこの人を、強くしたのであり、イエスによる信仰が、彼をあなた方一同の前で、この通り完全に癒やしたのである。

彼の名前にある癒やし

この癒やしの結果によって、ペテロとヨハネは逮捕されました、留置所に一晩保留されて、そして宗教的リーダー達によって、これ以上イエスの名前によって語るなど脅されました。ペテロは、彼らのこの癒やしに付いての質問に、この様に言う事によって大胆に答えました：

使徒行伝 4:10 ... あなた方ご一同も、またイスラエルの人々全体も、知っていただきたい。この人が元気になってみんなの前に立っているのは、ひとえに、あなた方が十字架につけて殺したのを、神が死人の中からよみがえらせたナザレ人イエス・キリストの御名によるのである。

彼の名前にある救い

ペテロとヨハネが、足に障害のある人を癒やす為の奉仕で、イエスのお名前を用いた結果として、信じる人達の数は、おおよそ五千人に増えました。

使徒行伝 4:4 しかし、彼らの話を聞いた多くの人たちは信じた。そして、その男の数が五千人ほどになった。

私達の貴重な救いは、力に満ちたイエスの御名の内に有ります。

使徒行伝 4:12 この人による以外に救いはない。私達を救いうる名は、これを別にしては、天下の誰にも与えられていないからである」。

人の彼(主)の御名に対する恐れ

ペテロとヨハネは、宗教リーダー達によって、二度とその名によって語るなど脅されました。

使徒行伝 4:17, 18 ただ、これ以上このことが民衆の間に広まらないように、今後はこの名によって、一切誰にも語っては行けないと、おどしてやろうではないか」。そこで、二人を呼び入れて、イエスの名によって語ることも説くことも、一切相成らぬと言い渡した。

彼の名の内にある大胆さ

その瞬間に、大胆の霊がペテロとヨハネの上に臨んだ。

使徒行伝 4:29, 30 主よ、今、彼らの脅迫に目をとめ、僕達に、思い切って大胆に御言葉を語らせて下さい。そして御手を伸ばして癒やしをなし、聖なる僕イエスの名によって、しるしと奇跡とを行わせて下さい」。

ピリピは彼の御名を説教した

使徒行伝 8:12 ところが、ピリポが神の国とイエス・キリストの名について宣べ伝えるに及んで、男も女も信じて、ぞくぞくとバプテスマをうけた。

御名の故に逮捕された

パウロ(サウロ)は、イエスの御名を呼んだ者達を逮捕するために使わされた。

使徒行伝 9:14 そして彼はここでも、御名を唱える者たちをみな捕縛する権を、祭司長たちから得て来ているのです」。彼の名前を運ぶ為選ばれているパウロは、イエスの御名を世界に運ぶ為に神によって選ばれました。

使徒行伝 9:15 しかし、主は仰せになった、「さあ、行きなさい。あの方は、異邦人たち、王たち、またイスラエルの子らにも、私の名を伝える器として、私が選んだ者である。

御名によって恐れ無しに説教した

使徒行伝 9:27 ところが、バルナバは彼の世話をし、使徒たちのところへ連れて行き、途中で主が彼に現れて語りかけたことや、彼がダマスコでイエスの名で大胆に宣べ伝えた次第を、彼らに説明して聞かせた。

御名を通しての解放

使徒行伝 16:18 そして、そんな事を、幾日間もつづけていた。パウロは困り果てて、その霊に向かい「イエス・キリストの名によって命じる。その女から出ていけ」と言った。すると、その瞬間に霊が女から出て行った。

彼の御名に対する高い光栄

使徒行伝 19:17, 18 このことがエペソに住むすべてのユダヤ人やギリシャ人に知れ渡って、みんな恐怖に襲われ、そして、主イエスの名があがめられた。また信者になった者が大勢来て、自分の行為を打ち明けて告白した。

イエスの御名による印と不思議

私達が神に耳を傾けて聞き、そして彼の声に従うに連れて、私達は大胆に一步踏み出て、そして信仰によってイエスの御名の畏敬的權威を用いなければならないのです。私達がそうする時、私達は日々の生活や(日々の神に対する)奉仕の中で印と不思議を経験するでしょう。

使徒行伝 4:29-31 主よ、今、彼らの脅迫に目をとめ、僕達に、思い切って大胆に御言葉を語らせて下さい。そして御手を伸ばし手癒やしをなし、聖なる僕イエスの名によって、しるしと奇跡とを行わせて下さい」。

彼らが祈り終わると、その集まっていた場所が揺れ動き、一同は聖霊に満たされて、大胆に神の言葉を語り出した。

私達がイエスの御名にある權威と力を用い続けるに従って、私達も又、畏敬ある神様の臨在と力を持って私達の世界を振り起すでしょう。

勝利のクリスチャン生活の為の鍵は、強大なイエスの御名に見い出されるでしょう。

私達がイエスの御名の權威を用いる事によって、初期の信者達に参加する時、使徒行伝書に叙述されている様に、その同じ力を持って私達は、歩む事が出来るのです。

復習の為の質問

1. 使徒行伝書から、使徒達がイエスの御名を用いた所の二箇所、例を上げなさい。

2. 私達が、イエスの御名は法的委任権を持っているのと似ていると言う時、何が意味されていますか？

3. あなたが今対面しているどのような挑戦に、あなたはイエスの御名を用いる事によって、勝利を経験する事を計画していますか？

レッスン 12

勝利の靈的戦闘

戦いの為に装備された！

神からの力

今、私達が永遠の衝突/不一致を理解し又、私達の権威と力に満ちた武器を知るという事は、私達は力に満ちた、勝利の、征服する戦闘の為に装備されているという事です。

パウロは書きました、

2 コリント人 10:4 私達の戦いの武器は、肉のものではなく、神のためには要塞をも破壊するほどの力あるものである。私達は様々な議論を破り、...

多くは、この黙示無しに戦闘に入ろうとしました。彼らは、イエスにあっての彼らであるが故に持っている、その権威を理解していなかったのです。

彼らにとっては、靈的戦闘が激烈な(緊張した)、強力な敵との途切れない苦闘に成ってしまいました。彼らは、デビル(悪魔)と彼のデーモン達で忙しく成ってしまいました。彼らの注目がデビルとデーモン達中心に成れば成る程、彼らがより大きく、より意地の悪い、そしてより強力である様に見え(思え)ます。

撃破/破棄された敵

預言者イザヤは、悪魔の将来について書きました。彼は私達に、彼(悪魔)の明白な宿命/因果を模写しました。

イザヤ 14:15-17 しかしあなたは陰府に落とされ、穴の奥底に入れられる。あなたを見る者をつくづくあなたを見、あなたに目をとめて言う、『この人は地を震わせ、国々を動かし、世界を荒野のように市、その都市を壊し、捕らえた者をその家に解き帰さなかった者であるのか』。

人々は、絶望的に打ち負かされて、辱められている、サタンと呼ばれるこの者をじろじろと見つめるでしょう。彼らは、彼らが非常に大きくて、強力だと

思っていたこの者に、予想外で驚いて覗き見るでしょう。彼らは屈辱の中で畏縮している彼を見るでしょう。彼らは尋ねるでしょう、「これがその人ですか…?」「これが、皆がそのような大勝負/取引をしていた人ですか?」

彼らは、無き物とされてしまっているこの人をじっと見つめるでしょう、彼を軽蔑して見るでしょう。彼らは、完全な敗北の中に彼を見るでしょう。

私達がイエスにあって何者であるかということ事の黙示を持つ時、私達はもはやデビル/悪魔に前もって心を奪われている(占領されている)事はありません。私達は継続的にイエス様で心/思いが一杯なのです！

デビルは、敗北している敵です。彼の力は、既に破壊されています。イエスは彼を“ゼロ”にしました。彼は、無武装で無機能にされて、そして公然の恥にさらされました。

皆無/無きものにした

ヘブル人 2:14b (アンプリファイド訳) 彼[彼自身]同じように、同じもの[性質/自然体]を分かち合った、それは死[を通ること]によって、彼(イエス)が、死の力持っていた者、それは、デビル/悪魔である、彼をを皆無で何の影響も及ぼさない者にするためである。

私達はデビルと彼のデーモン達との取り扱い/処分/処理に不利の全く無い立場にいるのです。私達は敵のあらゆる力に打ち勝つ力を与えられているのです。

私達が戦闘に入っていく時、それは確信ある保証と私達は勝利するという信仰にある位置/立場からであるべきです。私達は、私達がイエスにあって何者であるかという知識の中での位置/ポジションから戦闘に入り込むべきなのです。私達は強力な敵との緊迫した/激烈な苦闘葛藤をするだろうという計画を立てるべきではありません。私達は、それとは違って、私達がデビルは既に打ち負かされているという事実を実地証明する様に、喜びに満ちた勝利を楽しみにしているべきなのです。

☐ 私達は彼(主)を通して全ての事をする事ができます！

ピリピ人 4:13 私は、私を強くして下さるキリスト(救い主)によって何事でもする事が出来る。

勝利へのステップ

信者達(イエスを自分の救い主であり、神であると信じる者達)の力と権威は、私達自身のわがままな願望を成し遂げるための玩具ではありません。私達は、神の御心との完全なハーモニーの中にいなければいけないのです。

罪の告白

もし私達が、私達の霊的戦闘において、勝利者であるべきならば、私達は先ず神に対して悔い改め、私達の罪を告白し、そして彼の赦しを受け取らなければいけないのです。使徒ヨハネは、私達にどの様にこれをするのかを教えました。

第一ヨハネ 1:9 もし、私達が自分の罪を告白するならば、神は真実で正しい方であるから、その罪を赦し、すべての不義から私達を清めて下さる。

遂行/委任/委託

私達は、私達の人生/命を100%イエスに、私達の人生の主として、委ねなければいけないのです。

ローマ人 12:1,2 兄弟たち。そういうわけで、神のあわれみによってあなた方に勧める。あなた方の身体を、神に喜ばれる、生きた、聖なる供え物として捧げなさい。それが、あなた方の成すべき霊的な礼拝である。あなた方は、この世と妥協してはならない。むしろ、心を新たにすることによって、造りかえられ、何が神の御旨であるか、何が善であって、神に喜ばれ、かつ全きことであるかを、わきまえ知るべきである。

この世からの離別

私達は、この世の事柄/出来事/業務等との関わりから私達自身を引き離さなければいけないのです。

2 テモテ 2:4 兵役に服している者は、日常生活の事に煩わされてはいない。ただ、兵を募った司令官を喜ばせようと努める。

私達の願望を横にのけて置くこと

私達は、私達自身の願望を横に外して置き、神の霊によって導かれなければいけないのです。私達は、イエスの様に言わなければいけないのです、「私は、私の父がするのを見た事だけを行います。」

ヨハネ 5:19 さて、イエスは彼らに答えて言われた、「よくよくあなた方に、言うておく。子は父のなさることを見てする以外に、自分からは何事もすることができない。父のなさることであれば全て、子もそのとおりにするのである。

神は、全ての信じる者達にある特定の領域の上に権威を与えておられます：

- ◆彼等の結婚、子供達と家族
- ◆彼等の住む所 - 隣近所、市、国々
- ◆彼等が神によって奉仕するために送り出された所

しばしば、私達は、私達の霊の中で、私達の神が与えている権威の領域以外の範囲/地域にあるデビルの要塞に向かって戦闘に入って行くように、放されることは無いでしょう。神はその地域に居る信じる者達に、彼等の権威とそして要塞を引き落とす事を学んで欲しいのです。

愛の内にある態度を持つ

兵隊/戦士として、神の軍隊の中に居る信仰を持つ男子も女子も、私達は他の人達に対する私達の態度が、決して高慢で無慈悲/過酷に成ってはいけないのです。

ピレモン 1:4,5 私は、祈りの時にあなたを覚えて、いつも私の神に感謝している。それは、主イエスに対し、また、すべての聖徒に対するあなたの愛と信仰とについて、聞いているからである。

私達はデビルとディーモン達には、厳しくあらなければならないのです、しかし私達は継続して他の人

々に対しては、愛にあって歩み続けなければいけないのです。私達はデビルを忌み嫌います、しかし私達は人々を愛します。

私達は、常に、信じる者達としての私達の権威は、他の人々の上に主権を取るためではない、がしかし、デビルとそのディーモン達の上に主権を取るためである、ということ事を覚えていなければいけないのです。

私達が神と他の人々に向かって愛によって歩んで行く時、私達はデビルとの戦闘について継続的にずっと考えているのではないのです。

妥協無し

私達が神との密接な関係の中を歩んで行くにつれて一妥協、私達の生活の中に罪やこの世を混ぜたもの、無しで一神は、私達の敗北に対する悪魔の戦略を霊を見分ける霊的賜物の働き/起動によって私達に警告されるでしょう。私達が、より神に近ければ近くなる程、より一層、私達は悪や、惑わし、妥協、もしくはその混ざったものが来る時、その存在を(霊によって)感知する様に成るでしょう。

私達はイエスの上に私達の間をとめ続けなければいけないのです。もし悪魔か、もしくは彼のディーモン達が、邪魔して来たら一彼らと対処しなさい、彼らに抵抗しなさい、彼らを追い出しなさい一神からのものでない思いや想像等を打ち壊しなさい。私達が、勝利に向かって主を褒め称える時、その時私達は、私達の間をイエスに止め直すべきなのです。

2 コリント人 2:14 しかるに、神は感謝すべきかな。神はいつも私達をキリストの凱旋に伴い行き、私達を通してキリストを知る知識の香りを、至る所に放って下さるのである。

霊のスペシャリスト(専門家)無し

神の王国では、霊の戦闘と解放(悪霊の追い出し)が、“専門家”やもしくは、“ハイパワーディーモン追跡者”等と呼ばれ招き入れたり、又はそこに訪ねて行って完了させるというのは、彼(神)の計画/思惑では有りません。その代わりに、使徒ヤコブが書いた様

に、全ての信じる者達がデビルに立ち向かうべきなのです。

ヤコブ 4:7 それ故に神に従いなさい、そして悪魔に立ち向かいなさい、そうすれば彼(悪魔)はあなた方から立ち去るであろう。

神の武具

神は私達に、私達の中に居る戦いのための武具をもって備えて下さっています。使徒パウロは、私達が私達自身の武具を身に着けるべきであるとは書いていません；彼は、私達が神の武具を着けるべきだと書きました。

中世時の騎士達が、彼らの武具と、彼らの兜を着けて、兜の面頬を下ろし彼らの顔を覆う時、彼ら皆が力に満ちて、筋肉隆々で、危険な戦士達の様はその敵には見えました。その武具の中の肉の身体の不足/欠乏に関係無く、彼らは強力な戦士達の様に見えました。

私達が神の武具を身に着ける時、私達はデビルには、まるで神と同じように見えるのです。その時私達が戦いに勝つためにしなければならない全ては、神のように話し、神のように歩み、そして神のように行動する事です！

私達の力

私達は神の偉大な力の中で、作動するべきなのです。私達は私達自身にある強さをもって戦いに挑むべきではないのです。

エペソ人 6:10, 11 最後に行く。主にあって、その偉大な力によって、強くなりなさい。悪魔の策略に対抗して立ちうるために、神の武具で身を固めなさい。

私達の苦闘葛藤

12節 私達の戦いは、血肉に対するものではなく、諸々の支配と、権威と、闇の世の主権者、また天上にいる悪魔の霊に対する戦いである。

パウロは、私達に私達の苦闘葛藤は、血肉によるものではなく、しかし諸々の支配と、権威と、悪魔の霊

的勢力である、という事思い起こさせます。私達の苦闘葛藤は、この自然界の範囲ではなく、しかし霊の領域なのです。

私達の武具

- ◆真理の帯
- ◆正義の胸当て
- ◆福音(の為に靴)を履いた足

13-15節 それだから、悪しき日にあたって、よく抵抗し、完全に勝ち抜いて、堅く立ちうるために、神の武具を身につけなさい。すなわち、立って真理の帯を腰に締め、正義の胸当てを胸につけ、平和の福音の備えを足に履き、…

パウロは、“立つ”という言葉をも三度繰り返しました。最初に彼は、悪い時代が来る時、私達は私達の主張に固く立つ事が出来るであろうという事を言いました。それから彼は、私達が全ての事をし終えた後、私達は立っているべきである、という事を言いました。最後に、彼は言いました、固く立って、それから正義の胸当てを身につけなさい、そして私達の足に平和の福音の備えを履かせなさい。

真理とは、神の言葉です。それが、私達にとっての保護に成るものなので、私達はその言葉が何と言っているのかを知らなければいけないのです。

私達の正義の胸当ては、神の義です。私達は完全である事を要求されてはいませんが、しかし私達はこの胸当てをその場所に着けて置く為に、私達の生活の中で(それが罪だと)解っている罪が、無い事を要求されています。

私達の足は、平和の福音の備えの靴を履かされているべきなのです。備え/準備は、私達のする部分で、それは神の言葉を勉強することによって行われます。

パウロはテモテに書きました、

2 テモテ 2:15 あなたは真理の言葉を正しく教え、恥じるところのない練達した(神が認めるところの)働き人になって、神に自分を捧げるように努め励みなさい。

- ◆信仰の盾
- ◆救いの兜
- ◆御霊の剣

エペソ人 6:16, 17 ... その上に、信仰の盾をを手に取りなさい。それをもって、悪しき者の放つ火の矢を消すことができるであろう。また、救いのかぶとをかぶり、御霊の剣、すなわち、神の言葉を取りなさい。

私達は、デビル/悪魔の放つ火の矢を消すために、信仰の盾を使うべきなのです。火の矢とは、悪魔が私達に向かって投げかけて来る思い(考え)や、誘惑、病気、そしてその他の戦略等です。私達はそれらを、神を信じる信仰と、そして彼の言葉を信じる信仰を通して消滅するべきなのです。

救いの兜は、私達が救いを受け取った時に着けられます。これは、私達の永遠の運命に落ち着かすだけのものではなく、しかし又、私達が神のイメージに創造された時の、私達がそう成るために創造された全てに回復するところの救いでも有るのです。その救いの兜は、私達が私達の心の思い(思考)を私達の救いの完全な目視/啓示に至る迄更新する事を許します。

ローマ人 12:2a あなた方は、この世と妥協してはならない。むしろ、心を新たにすることのよって、造りかえられ、...

この思考の更新は、私達はその神の言葉を読み、勉強し、そして黙想(口ずさむ/思い巡らす/熟考)し続けて行く時に、神の言葉の生ける“水”による私達の思考の洗い清めを通して来るのです。

エペソ人 5:26 ... キリストがそうなさったのは、水で洗うことにより、言葉によって、教会を清めて聖なるものとするためにであり、...

私達は攻撃的武器の一つ与えられています、そしてそれは、神の御言葉である御霊の剣です。パウロが私達に、ヘブル人の書の中で御霊の剣についてもっと話しています。

ヘブル人 4:12 というのは、神の言葉は生きていて、力があり、もろ刃の剣よりも鋭くて、精神と靈魂

と、関節と骨髄とを切り離すまでに刺し通して、心の思いと志とを見分けることができる。

神の御言葉は、私達の真理の帯です、私達の足のカバー(覆うもの)そして私達の剣です！御言葉を勉強する事の重要性について何か疑いがありますか？

勝利的に祈る事

一旦私達が信仰によって、神の完全武具を身に着けるたなら、私達は全てのおりに聖霊によって祈るべきなのです。

エペソ人 6:18 ... 絶えず祈りと願いをし、どんな時でも御霊によって祈り、そのために目をさましてうむことがなく、すべての聖徒のために祈り続けなさい。

私達が、全てのセインツ(聖徒たち/主に使えるもの達)のために、私達の回復されている権威を用いて、信仰によって祈り続ける時に、私達は悪魔の要塞が倒れるのを見るでしょう。私達は戦いの中で勇敢になり、そして悪魔の勢力を追い出すでしょう。

ヘブル人 11:33, 34 ... 彼らは信仰によって、国々を征服し、義を行い、約束のものを受け、獅子の口をふさぎ、火の勢いを消し、剣の刃を逃れ、弱いものは強くされ、戦いの勇者となり、他国の軍を退かせた。

奉仕の働きのために備え/装備させられた

イエスは、私達に全世界に出て行ってそして良き知らせを教え伝えるべきだと言いました。

マルコ 16:15 そして彼らに言われた、「全世界に出て行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えよ。

イザヤが、良き知らせを運んで来たそれらの者達について話しました。

イザヤ 52:7 良き訪れを伝え、平和を告げ、良き訪れを伝え、救いを告げ、シオンに向かって「あなたの神は王となられた」と言う者の足は山の上にあつて、なんと美しいことだろう。

パウロは、私達は征服者以上の者、何も私達を神の愛から引き離すことは出来ない者なのである、ということ事を私達に話しています。

ローマ人 8:37-39 しかし、私達を愛して下さった方によって、私達は、これらすべての事において勝ち得て余りがある。私は確信する。死も生も、天使も支配者も、現在のものも将来のものも、力あるものも、高いものも深いものも、その他どんな被造物も、私達の主キリスト・イエスにおける神の愛から、私達を引き離すことはできないのである。

イエスは私達に、バプテスマのヨハネの時から今に至るまで、神の王国は勢力によって促進していると、言っています。

マタイ11:12 バプテスマのヨハネの時から今に至るまで、天国は激しく襲われている。そして激しく襲う者たちがそれを奪い取っている。*(日本語訳が、英語と異なる — 要ルカ16:16参照)

パウロは私達に、勢力とは信仰だと言っています！

ヘブル人 11:33 彼らは信仰によって、国々を征服し、義を行い、約束のものを受け獅子の口をふさぎ、
...

復習の為の質問

1. 私達が靈的戦いに関わっているので、身に着けているべき覆いである、“神の武具”とは何を意味しているか述べなさい。
2. エペソ人6:16,17に出てきた、私達の戦闘の強力/偉大な武器を述べなさい。
3. ヘブル人11:33とそして34によれば、信仰が、靈的戦いに勝つ事に於いて、どのよう
に重要ですか？

結論/最後に

イエスの業は完了！
彼は既に悪魔を打ち負かしている
そして全てを取り戻している
悪魔がアダムとイヴから奪った所の。

彼はこの地球上での権威を既に回復している
贖われた人類のために、
彼の教会ー彼の偉大な軍隊！
であるそれらの者達のために！

今や、それは私達次第です！
私達こそが世界中に運ぶ者達です
この素晴らしい救いのメッセージを。

私達は勢力的に神の王国を
促進するべきである。

私達はイエスの敵軍を彼の足台に
させるべきである。

私達は権威の中を歩むべきなのです、
この地球上で、
今日！

暗記するための箇所

エペソ人 6:12

1 ペテロ 5:8、9

ヨハネ 10:10

創世記 1:26

創世記 3:15

ヘブル人 2:14

1 ヨハネ 3:8

コロサイ人 2:15

黙示録 1:18

エペソ人 1:22、23

コロサイ人 1:13

ローマ人 16:20

ルカ 10:19

マタイ 16:18、19

黙示録 12:11

1 ヨハネ 2:13、14

ピリピ人 2:9、10

トレーニングシリーズ全巻

聖書トレーニングセンター ~ 聖書学校 ~

日曜学校 ~ グループ学習 ~ そして個人学習等に優秀

ホゼアに読みます、私の民は、知識がないために滅ぼされる(4:6)。私達は多くを失いました、なぜなら私達は神が私達のために備えて下さっている事を知らないからです。私達は、私達が知らない事に信仰を持つことが出来ません！このトレーニングシリーズは、私達が健康と力の両面において、神の王国の中で生きる事ができるように、立ち上げられました！私達は、強い、奇跡が働く信者の肢体であるべきなのです。この力ある、基礎的、実質的なライフチェンジング(人生を変える)シリーズは、この目的のためです - ミニストリー(奉仕)の働きのために、信者達を整える、キリストの肢体の徳を高める、私達全員が、信仰と、そして神の息子を知る知識の一致に来るまで、完璧な人へと、キリストの豊富に満ちるまでの成長へと、… (エペソ 4:12, 13) 全ての信者がイエスの業をしている。

私達はあなたがこれらの科目をこの順番に学習することを提案します。

新しい創造物としてのイメージ - キリストにある自分を知ること

私達が誰/何者になるために創造されているかを発見する！“再生/新生する”とはどういう意味か。この義の黙示は、信じる者達を敗北的な、罪悪、罪に定める、自己卑下やキリストのイメージと一致されるに不相応だという思い/考えから解放します。

信じる者達の権威 - 敗北する事を辞めて勝利する事を始めよう

神は彼の人類に対する永遠の目的を表しました、彼が言った時に、“彼らに主権を持たせよう！”あなたは、新しい大胆さの中を歩むでしょう。あなたは、あなたの日々の生活と奉仕の中で、サタンとディーモンパワーに勝利した人生を生きるでしょう。

超自然的な生活 - 聖霊からの賜物を通して - 聖霊様と新しい密接した関係を設立する。

あなたがどのようにして、聖霊からの9つ全ての賜物によって働く/動くのかを発見するのを助ける。あなたが、超-自然の新しい人生に入って行く時に、熱心に願い望み、領収し、そしてこれらの賜物を燃える火になるように、扇ぎなさい。

信仰 - 超自然の中で生きるため どのように信仰の領域に、あなたが移動するのかを学ぶ。どのようにあなたが、神のために大いに開拓/開発することができるのか。信者達が、彼らの信仰を放す時です、超自然の領域に踏み入るために、神の偉大さを全世界に見せるために！

神の癒やしのための備え - 神の癒やしの力を受け取る事そして(また其の)奉仕する事

効果的に癒やしを受け取る、もしくは、奉仕するために信仰を放すところの、御言葉のみの土台を据える。それは、イエスと使徒達の奉仕を 今日の癒やしのパターンとして提供する。

賛美と礼拝 - 神の礼拝者に成ること

賛美と礼拝のための神の永遠の目的を表す。信者達をスリルある上の(高い)賛美の聖書的表現に放す。如何に親密な礼拝の中で、圧倒的な神の臨在の中に入り込むかを教えます。

栄光 - 神の臨在

なんと驚くべき時に私達は生きていますでしょうか！私達は神の栄光を経験することが出来る。彼は、私達の周り全体に表されています。この栄光とは何であるか、そしてどのようにして、あなたがそれを、経験することが出来るのかを学ぶ。

奇跡の伝道 - 世界に届くための神の計画

使徒行伝の書に出てくるそれらの様に、私達は、印を、不思議や癒やしの奇跡を私達の生活の中で経験出来ます。私達を通して奇跡の伝道を流れさせる事によって、私達は大いなる“世の終末期”収穫の一部に成ることが出来ます！

祈り - 天国を地球にもって来る

どのようにして、あなたが神の御心を、天と同じ様に、この地上で成るように、放す/自由にすることが出来るのかを発見する。執り成しの祈り、御言葉の祈り、そして信仰と一致の祈りを通して、あなたはあなたの人生を変える事が、出来ます、世界でさえも。

勝ち誇った教会 - 使徒行伝の書を通して

イエスは言った、“私達は、私の教会を建てよう、そして地獄の門もそれに打ち勝つ事はない。”この学習において、あなたは如何に使徒行伝の書が、初期の教会が行動した話/物語で、だからこのように、印と不思議とを今日の彼/主の教会に回復するためのパターンであるのか、ということ見るでしょう。

ミニストリー/奉仕の賜物 - 使徒、預言者、伝道師、牧師、教師

イエスは、人間に賜物を与えた。どのように、これらの賜物が、神の人々を仕える業のために準備/用意するため、教会の中で一緒に流れるべきであるかを発見する。あなたの人生においての神の召しを理解する！

生活のためのパターン - 旧約から！

神の豊かな基本的な真理が、この話題的学習/学びの中で生きて来ます。メシア/救い主の来臨の預言、祭り、生贖、そして旧約の奇跡、全ては、神の永遠の計画をあらわす。

全ての手引き、書物や学習ガイドは

www.gillministries.com にて無料ダウンロード出来ます。